

人間論【人】		【単位数】	2単位
授業コード	10015	科目ナンバリング	100A1-1000-o2
開講年度学期	2025年度第1期		
担当者氏名	崎川 修、岡田 紅理子、山根 道公		
時間割備考	1年次 人間対象		
授業形態（主）	1 講義		
授業形態（副）			
担当形態	オムニバス		
研究分野（大学院）			
本授業の概要			
<p>本学の建学の精神の根幹にあるキリスト教的人間観を、本学の歴史や理念、またその基礎にある聖書やキリスト教思想、哲学的な人間理解を通して考察する。また、キリスト教的価値観に基づいた「生き方」について、自らの問題として考え、実践することを学ぶ。</p>			
アクティブラーニングの実施内容			
到達目標		対応するディプロマポリシー (1 知識・技能/2 思考・判断・表現力/3 主体性)	
1	1. 本学の教育理念および建学の精神の根底にあるキリスト教的人間観についての基本的知識を獲得し、それについて説明し論じることができる。	知識・技能/思考・判断・表現力	
2	他者への奉仕の精神を、自らの生きる意義の追求と結びつけて理解し、自ら判断し実行することができる。	思考・判断・表現力/主体性	
3			
4			
5			
成績評価の基準		対応する到達目標の番号	
1	受講態度・リアクションペーパー45%	1/2	
2	期末レポート55%	1/2	
3			
4			
5			
実務経験のある教員による授業科目			
実務経験の授業への活用方法			
日本語以外の言語による授業			
授業予定一覧		事前・事後学修内容と時間	
1. 導入：「人間論」で何を学ぶか（崎川）			
事前学修	シラバスと教科書を対照させながら、授業計画の全体について把握し、その目標を理解しておく。	2時間	
事後学修	ノートを整理し、内容に関連する図書やweb資料などを用いて理解を深める。	2時間	
2. 特別講義：聖ジュリー・ピリアートと建学の精神（津田葵学長）			
事前学修	教科書の該当部分を読み、論点を整理しておく。	2時間	
事後学修	ノートを整理し、内容に関連する図書やweb資料などを用いて理解を深める。	2時間	
3. 特別講義：SDGsとノートルダム清心女子大学（濱西栄司）			
事前学修	教科書の該当部分を読み、論点を整理しておく。	2時間	
事後学修	ノートを整理し、内容に関連する図書やweb資料などを用いて理解を深める。	2時間	
4. キリスト教の人間理解①キリスト教を学ぶ（岡田）			
事前学修	教科書の該当部分を読み、論点を整理しておく。	2時間	
事後学修	ノートを整理し、内容に関連する図書やweb資料などを用いて理解を深める。	2時間	
5. キリスト教の人間理解②聖書の基本理解（岡田）			
事前学修	教科書の該当部分を読み、論点を整理しておく。	2時間	
事後学修	ノートを整理し、内容に関連する図書やweb資料などを用いて理解を深める。	2時間	

6. キリスト教の人間理解③旧約聖書における神と人間（岡田）		
事前学修	教科書の該当部分を読み、論点を整理しておく。	2時間
事後学修	ノートを整理し、内容に関連する図書やweb資料などを用いて理解を深める。	2時間
7. キリスト教の人間理解④新約聖書におけるキリストの福音（岡田）		
事前学修	教科書の該当部分を読み、論点を整理しておく。	2時間
事後学修	ノートを整理し、内容に関連する図書やweb資料などを用いて理解を深める。	2時間
8. イエス・キリストのメッセージ①イエスの生き方に学ぶ（山根）		
事前学修	教科書の該当部分を読み、論点を整理しておく。	2時間
事後学修	ノートを整理し、内容に関連する図書やweb資料などを用いて理解を深める。	2時間
9. イエス・キリストのメッセージ②神に結ばれる愛の福音（山根）		
事前学修	教科書の該当部分を読み、論点を整理しておく。	2時間
事後学修	ノートを整理し、内容に関連する図書やweb資料などを用いて理解を深める。	2時間
10. イエス・キリストのメッセージ③あわれみと隣人愛（山根）		
事前学修	教科書の該当部分を読み、論点を整理しておく。	2時間
事後学修	ノートを整理し、内容に関連する図書やweb資料などを用いて理解を深める。	2時間
11. イエス・キリストのメッセージ④アガペーの愛を生きる（山根）		
事前学修	教科書の該当部分を読み、論点を整理しておく。	2時間
事後学修	ノートを整理し、内容に関連する図書やweb資料などを用いて理解を深める。	2時間
12. 人間として生きる①〈考える葦〉としての人間（崎川）		
事前学修	教科書の該当部分を読み、論点を整理しておく。	2時間
事後学修	ノートを整理し、内容に関連する図書やweb資料などを用いて理解を深める。	2時間

13. 人間として生きる②ライフサイクルのなかの人間（崎川）		
事前学修	教科書の該当部分を読み、論点を整理しておく。	2時間
事後学修	ノートを整理し、内容に関連する図書やweb資料などを用いて理解を深める。	2時間
14. 人間として生きる③成熟と喪失（崎川）		
事前学修	教科書の該当部分を読み、論点を整理しておく。	2時間
事後学修	ノートを整理し、内容に関連する図書やweb資料などを用いて理解を深める。	2時間
15. 人間として生きる④生かされるいのち（崎川）		
事前学修	教科書の該当部分を読み、論点を整理しておく。	2時間
事後学修	ノートを整理し、内容に関連する図書やweb資料などを用いて理解を深める。	2時間
試験等		
期末レポートを提出してもらう。内容については授業内で指示する。		
試験のフィードバックの方法		
必携書（教科書販売）		
書籍名／著者／発売元出版社／価格／ISBN／媒体種別・備考		
中型聖書 横組 NI34DCH／／日本聖書協会／3100／9784820212027／冊子版		
『新・私たちの人間論』 ノートルダム清心女子大学キリスト教文化研究所（編），大学教育出版，2022年，ISBN9784866921990		
必携書・参考書（教科書販売以外）		
書籍名／著者／発売元出版社／価格／ISBN／媒体種別・備考		
〈参考書〉 授業内で指示する。 必要に応じて適宜プリント資料等を配布する。		
オフィスアワー		
授業内で指示する。質問・相談は随時メールで受け付ける。		
連絡先		
履修全般および特別講義等についての質問・相談は崎川、各回の授業については、それぞれの担当者にて受け付ける。 sakikawa@m.ndsu.ac.jp（崎川） okada@m.ndsu.ac.jp（岡田） yamane@m.ndsu.ac.jp（山根）		
留意事項		
<ul style="list-style-type: none"> ・1～3回目の授業は、学部ごとに合同で行う。4～15回目は各クラスの教室で、3名の担当教員が交代で講義を行う。詳しいスケジュールについては初回に説明する。 ・授業についての連絡は、manaba folioを通じて行う。 ・授業が一方通行にならないように毎回アクションペーパーに意見・質問等を記入してもらう。主体的に授業に臨むこと。 ・『聖書』はできるだけ教科書販売のものを購入すること。既に所持しているものを使いたい場合は、初回授業での指示に従うこと。 		

人間論〔児〕		単位数	2単位
授業コード	10045	科目ナンバリング	100A1-1000-o2
開講年度学期	2025年度第1期		
担当者氏名	岡田 紅理子、崎川 修、山根 道公		
時間割備考	1年次 児童対象		
授業形態(主)	1 講義		
授業形態(副)			
担当形態	オムニバス		
研究分野(大学院)			
本授業の概要			
<p>本学の建学の精神の根幹にあるキリスト教的人間観を、本学の歴史や理念、またその基礎にある聖書やキリスト教思想、哲学的な人間理解を通して考察する。また、キリスト教的価値観に基づいた「生き方」について、自らの問題として考え、実践することを学ぶ。</p>			
アクティブラーニングの実施内容			
到達目標		対応するディプロマポリシー (1 知識・技能/2 思考・判断・表現力/3 主体性)	
1	1. 本学の教育理念および建学の精神の根底にあるキリスト教的人間観についての基本的知識を獲得し、それについて説明し論じることができる。	知識・技能/思考・判断・表現力	
2	他者への奉仕の精神を、自らの生きる意義の追求と結びつけて理解し、自ら判断し実行することができる。	思考・判断・表現力/主体性	
3			
4			
5			
成績評価の基準		対応する到達目標の番号	
1	受講態度・リアクションペーパー45%	1/2	
2	期末レポート55%	1/2	
3			
4			
5			
実務経験のある教員による授業科目			
実務経験の授業への活用方法			
日本語以外の言語による授業			
授業予定一覧		事前・事後学修内容と時間	
1. 導入：「人間論」で何を学ぶか（崎川）			
事前学修	シラバスと教科書を対照させながら、授業計画の全体について把握し、その目標を理解しておく。	2時間	
事後学修	ノートを整理し、内容に関連する図書やweb資料などを用いて理解を深める。	2時間	
2. 特別講義：聖ジュリー・ピリアートと建学の精神（津田葵学長）			
事前学修	教科書の該当部分を読み、論点を整理しておく。	2時間	
事後学修	ノートを整理し、内容に関連する図書やweb資料などを用いて理解を深める。	2時間	
3. 特別講義：SDGsとノートルダム清心女子大学（濱西栄司）			
事前学修	教科書の該当部分を読み、論点を整理しておく。	2時間	
事後学修	ノートを整理し、内容に関連する図書やweb資料などを用いて理解を深める。	2時間	
4. キリスト教の人間理解①キリスト教を学ぶ（岡田）			
事前学修	教科書の該当部分を読み、論点を整理しておく。	2時間	
事後学修	ノートを整理し、内容に関連する図書やweb資料などを用いて理解を深める。	2時間	
5. キリスト教の人間理解②聖書の基本理解（岡田）			
事前学修	教科書の該当部分を読み、論点を整理しておく。	2時間	
事後学修	ノートを整理し、内容に関連する図書やweb資料などを用いて理解を深める。	2時間	

6. キリスト教の人間理解③旧約聖書における神と人間（岡田）		
事前学修	教科書の該当部分を読み、論点を整理しておく。	2時間
事後学修	ノートを整理し、内容に関連する図書やweb資料などを用いて理解を深める。	2時間
7. キリスト教の人間理解④新約聖書におけるキリストの福音（岡田）		
事前学修	教科書の該当部分を読み、論点を整理しておく。	2時間
事後学修	ノートを整理し、内容に関連する図書やweb資料などを用いて理解を深める。	2時間
8. イエス・キリストのメッセージ①イエスの生き方に学ぶ（山根）		
事前学修	教科書の該当部分を読み、論点を整理しておく。	2時間
事後学修	ノートを整理し、内容に関連する図書やweb資料などを用いて理解を深める。	2時間
9. イエス・キリストのメッセージ②神に結ばれる愛の福音（山根）		
事前学修	教科書の該当部分を読み、論点を整理しておく。	2時間
事後学修	ノートを整理し、内容に関連する図書やweb資料などを用いて理解を深める。	2時間
10. イエス・キリストのメッセージ③あわれみと隣人愛（山根）		
事前学修	教科書の該当部分を読み、論点を整理しておく。	2時間
事後学修	ノートを整理し、内容に関連する図書やweb資料などを用いて理解を深める。	2時間
11. イエス・キリストのメッセージ④アガペーの愛を生きる（山根）		
事前学修	教科書の該当部分を読み、論点を整理しておく。	2時間
事後学修	ノートを整理し、内容に関連する図書やweb資料などを用いて理解を深める。	2時間
12. 人間として生きる①〈考える葦〉としての人間（崎川）		
事前学修	教科書の該当部分を読み、論点を整理しておく。	2時間
事後学修	ノートを整理し、内容に関連する図書やweb資料などを用いて理解を深める。	2時間

13. 人間として生きる②ライフサイクルのなかの人間（崎川）		
事前学修	教科書の該当部分を読み、論点を整理しておく。	2時間
事後学修	ノートを整理し、内容に関連する図書やweb資料などを用いて理解を深める。	2時間
14. 人間として生きる③成熟と喪失（崎川）		
事前学修	教科書の該当部分を読み、論点を整理しておく。	2時間
事後学修	ノートを整理し、内容に関連する図書やweb資料などを用いて理解を深める。	2時間
15. 人間として生きる④生かされるいのち（崎川）		
事前学修	教科書の該当部分を読み、論点を整理しておく。	2時間
事後学修	ノートを整理し、内容に関連する図書やweb資料などを用いて理解を深める。	2時間
試験等		
期末レポートを提出してもらう。内容については授業内で指示する。		
試験のフィードバックの方法		
必携書（教科書販売）		
書籍名／著者／発売元出版社／価格／ISBN／媒体種別・備考		
中型聖書 横組 NI34DCH／／日本聖書協会／3100／9784820212027／冊子版		
『新・私たちの人間論』 ノートルダム清心女子大学キリスト教文化研究所（編），大学教育出版，2022年，ISBN9784866921990		
必携書・参考書（教科書販売以外）		
書籍名／著者／発売元出版社／価格／ISBN／媒体種別・備考		
〈参考書〉 授業内で指示する。 必要に応じて適宜プリント資料等を配布する。		
オフィスアワー		
授業内で指示する。質問・相談は随時メールで受け付ける。		
連絡先		
履修全般および特別講義等についての質問・相談は崎川、各回の授業については、それぞれの担当者にて受け付ける。 sakikawa@m.ndsu.ac.jp（崎川） okada@m.ndsu.ac.jp（岡田） yamane@m.ndsu.ac.jp（山根）		
留意事項		
<ul style="list-style-type: none"> ・1～3回目の授業は、学部ごとに合同で行う。4～15回目は各クラスの教室で、3名の担当教員が交代で講義を行う。詳しいスケジュールについては初回に説明する。 ・授業についての連絡は、manaba folioを通じて行う。 ・授業が一方通行にならないように毎回リアクションペーパーに意見・質問等を記入してもらう。主体的に授業に臨むこと。 ・『聖書』はできるだけ教科書販売のものを購入すること。既に所持しているものを使いたい場合は、初回授業での指示に従うこと。 		

人間論 [現]		単位数	2単位
授業コード	10055	科目ナンバリング	100A1-1000-o2
開講年度学期	2025年度第1期		
担当者氏名	岡田 紅理子、崎川 修、山根 道公		
時間割備考	1年次 現社対象		
授業形態 (主)	1 講義		
授業形態 (副)			
担当形態	オムニバス		
研究分野 (大学院)			
本授業の概要			
<p>本学の建学の精神の根幹にあるキリスト教的人間観を、本学の歴史や理念、またその基礎にある聖書やキリスト教思想、哲学的な人間理解を通して考察する。また、キリスト教的価値観に基づいた「生き方」について、自らの問題として考え、実践することを学ぶ。</p>			
アクティブラーニングの実施内容			
到達目標		対応するディプロマポリシー (1 知識・技能/2 思考・判断・表現力/3 主体性)	
1	1. 本学の教育理念および建学の精神の根底にあるキリスト教的人間観についての基本的知識を獲得し、それについて説明し論じることができる。	知識・技能/思考・判断・表現力	
2	他者への奉仕の精神を、自らの生きる意義の追求と結びつけて理解し、自ら判断し実行することができる。	思考・判断・表現力/主体性	
3			
4			
5			
成績評価の基準		対応する到達目標の番号	
1	受講態度・リアクションペーパー45%	1/2	
2	期末レポート55%	1/2	
3			
4			
5			
実務経験のある教員による授業科目			
実務経験の授業への活用方法			
日本語以外の言語による授業			
授業予定一覧		事前・事後学修内容と時間	
1. 導入：「人間論」で何を学ぶか（崎川）			
事前学修	シラバスと教科書を対照させながら、授業計画の全体について把握し、その目標を理解しておく。	2時間	
事後学修	ノートを整理し、内容に関連する図書やweb資料などを用いて理解を深める。	2時間	
2. 特別講義：聖ジュリー・ピリアートと建学の精神（津田葵学長）			
事前学修	教科書の該当部分を読み、論点を整理しておく。	2時間	
事後学修	ノートを整理し、内容に関連する図書やweb資料などを用いて理解を深める。	2時間	
3. 特別講義：SDGsとノートルダム清心女子大学（濱西栄司）			
事前学修	教科書の該当部分を読み、論点を整理しておく。	2時間	
事後学修	ノートを整理し、内容に関連する図書やweb資料などを用いて理解を深める。	2時間	
4. キリスト教の人間理解①キリスト教を学ぶ（岡田）			
事前学修	教科書の該当部分を読み、論点を整理しておく。	2時間	
事後学修	ノートを整理し、内容に関連する図書やweb資料などを用いて理解を深める。	2時間	
5. キリスト教の人間理解②聖書の基本理解（岡田）			
事前学修	教科書の該当部分を読み、論点を整理しておく。	2時間	
事後学修	ノートを整理し、内容に関連する図書やweb資料などを用いて理解を深める。	2時間	

6. キリスト教の人間理解③旧約聖書における神と人間（岡田）		
事前学修	教科書の該当部分を読み、論点を整理しておく。	2時間
事後学修	ノートを整理し、内容に関連する図書やweb資料などを用いて理解を深める。	2時間
7. キリスト教の人間理解④新約聖書におけるキリストの福音（岡田）		
事前学修	教科書の該当部分を読み、論点を整理しておく。	2時間
事後学修	ノートを整理し、内容に関連する図書やweb資料などを用いて理解を深める。	2時間
8. イエス・キリストのメッセージ①イエスの生き方に学ぶ（山根）		
事前学修	教科書の該当部分を読み、論点を整理しておく。	2時間
事後学修	ノートを整理し、内容に関連する図書やweb資料などを用いて理解を深める。	2時間
9. イエス・キリストのメッセージ②神に結ばれる愛の福音（山根）		
事前学修	教科書の該当部分を読み、論点を整理しておく。	2時間
事後学修	ノートを整理し、内容に関連する図書やweb資料などを用いて理解を深める。	2時間
10. イエス・キリストのメッセージ③あわれみと隣人愛（山根）		
事前学修	教科書の該当部分を読み、論点を整理しておく。	2時間
事後学修	ノートを整理し、内容に関連する図書やweb資料などを用いて理解を深める。	2時間
11. イエス・キリストのメッセージ④アガペーの愛を生きる（山根）		
事前学修	教科書の該当部分を読み、論点を整理しておく。	2時間
事後学修	ノートを整理し、内容に関連する図書やweb資料などを用いて理解を深める。	2時間
12. 人間として生きる①〈考える葦〉としての人間（崎川）		
事前学修	教科書の該当部分を読み、論点を整理しておく。	2時間
事後学修	ノートを整理し、内容に関連する図書やweb資料などを用いて理解を深める。	2時間

13. 人間として生きる②ライフサイクルのなかの人間（崎川）		
事前学修	教科書の該当部分を読み、論点を整理しておく。	2時間
事後学修	ノートを整理し、内容に関連する図書やweb資料などを用いて理解を深める。	2時間
14. 人間として生きる③成熟と喪失（崎川）		
事前学修	教科書の該当部分を読み、論点を整理しておく。	2時間
事後学修	ノートを整理し、内容に関連する図書やweb資料などを用いて理解を深める。	2時間
15. 人間として生きる④生かされるいのち（崎川）		
事前学修	教科書の該当部分を読み、論点を整理しておく。	2時間
事後学修	ノートを整理し、内容に関連する図書やweb資料などを用いて理解を深める。	2時間
試験等		
期末レポートを提出してもらう。内容については授業内で指示する。		
試験のフィードバックの方法		
必携書（教科書販売）		
書籍名／著者／発売元出版社／価格／ISBN／媒体種別・備考		
中型聖書 横組 NI34DCH／／日本聖書協会／3100／9784820212027／冊子版		
『新・私たちの人間論』 ノートルダム清心女子大学キリスト教文化研究所（編），大学教育出版，2022年，ISBN9784866921990		
必携書・参考書（教科書販売以外）		
書籍名／著者／発売元出版社／価格／ISBN／媒体種別・備考		
〈参考書〉 授業内で指示する。 必要に応じて適宜プリント資料等を配布する。		
オフィスアワー		
授業内で指示する。質問・相談は随時メールで受け付ける。		
連絡先		
履修全般および特別講義等についての質問・相談は崎川、各回の授業については、それぞれの担当者にて受け付ける。 sakikawa@m.ndsu.ac.jp（崎川） okada@m.ndsu.ac.jp（岡田） yamane@m.ndsu.ac.jp（山根）		
留意事項		
<ul style="list-style-type: none"> ・1～3回目の授業は、学部ごとに合同で行う。4～15回目は各クラスの教室で、3名の担当教員が交代で講義を行う。詳しいスケジュールについては初回に説明する。 ・授業についての連絡は、manaba folioを通じて行う。 ・授業が一方通行にならないように毎回リアクションペーパーに意見・質問等を記入してもらう。主体的に授業に臨むこと。 ・『聖書』はできるだけ教科書販売のものを購入すること。既に所持しているものを使いたい場合は、初回授業での指示に従うこと。 		

人間論〔食〕		単位数	2単位
授業コード	10065	科目ナンバリング	100A1-1000-o2
担当者氏名	山根 道公、崎川 修、岡田 紅理子		
時間割備考	1年次 食品対象		
授業形態(主)	1 講義		
授業形態(副)			
担当形態	オムニバス		
研究分野(大学院)			
本授業の概要			
<p>本学の建学の精神の根幹にあるキリスト教的人間観を、本学の歴史や理念、またその基礎にある聖書やキリスト教思想、哲学的な人間理解を通して考察する。また、キリスト教的価値観に基づいた「生き方」について、自らの問題として考え、実践することを学ぶ。</p>			
アクティブラーニングの実施内容			
到達目標		対応するディプロマポリシー (1 知識・技能/2 思考・判断・表現力/3 主体性)	
1	1. 本学の教育理念および建学の精神の根幹にあるキリスト教的人間観についての基本的知識を獲得し、それについて説明し論じることができる。	知識・技能/思考・判断・表現力	
2	他者への奉仕の精神を、自らの生きる意義の追求と結びつけて理解し、自ら判断し実行することができる。	思考・判断・表現力/主体性	
3			
4			
5			
成績評価の基準		対応する到達目標の番号	
1	受講態度・リアクションペーパー45%	1/2	
2	期末レポート55%	1/2	
3			
4			
5			
実務経験のある教員による授業科目			
実務経験の授業への活用方法			
日本語以外の言語による授業			
授業予定一覧		事前・事後学修内容と時間	
1. 導入：「人間論」で何を学ぶか（崎川）			
事前学修	シラバスと教科書を対照させながら、授業計画の全体について把握し、その目標を理解しておく。	2時間	
事後学修	ノートを整理し、内容に関連する図書やweb資料などを用いて理解を深める。	2時間	
2. 特別講義：聖ジュリー・ピリアートと建学の精神（津田葵学長）			
事前学修	教科書の該当部分を読み、論点を整理しておく。	2時間	
事後学修	ノートを整理し、内容に関連する図書やweb資料などを用いて理解を深める。	2時間	
3. 特別講義：SDGsとノートルダム清心女子大学（濱西栄司）			
事前学修	教科書の該当部分を読み、論点を整理しておく。	2時間	
事後学修	ノートを整理し、内容に関連する図書やweb資料などを用いて理解を深める。	2時間	
4. キリスト教の人間理解①キリスト教を学ぶ（岡田）			
事前学修	教科書の該当部分を読み、論点を整理しておく。	2時間	
事後学修	ノートを整理し、内容に関連する図書やweb資料などを用いて理解を深める。	2時間	
5. キリスト教の人間理解②聖書の基本理解（岡田）			
事前学修	教科書の該当部分を読み、論点を整理しておく。	2時間	
事後学修	ノートを整理し、内容に関連する図書やweb資料などを用いて理解を深める。	2時間	

6. キリスト教の人間理解③旧約聖書における神と人間（岡田）		
事前学修	教科書の該当部分を読み、論点を整理しておく。	2時間
事後学修	ノートを整理し、内容に関連する図書やweb資料などを用いて理解を深める。	2時間
7. キリスト教の人間理解④新約聖書におけるキリストの福音（岡田）		
事前学修	教科書の該当部分を読み、論点を整理しておく。	2時間
事後学修	ノートを整理し、内容に関連する図書やweb資料などを用いて理解を深める。	2時間
8. イエス・キリストのメッセージ①イエスの生き方に学ぶ（山根）		
事前学修	教科書の該当部分を読み、論点を整理しておく。	2時間
事後学修	ノートを整理し、内容に関連する図書やweb資料などを用いて理解を深める。	2時間
9. イエス・キリストのメッセージ②神に結ばれる愛の福音（山根）		
事前学修	教科書の該当部分を読み、論点を整理しておく。	2時間
事後学修	ノートを整理し、内容に関連する図書やweb資料などを用いて理解を深める。	2時間
10. イエス・キリストのメッセージ③あわれみと隣人愛（山根）		
事前学修	教科書の該当部分を読み、論点を整理しておく。	2時間
事後学修	ノートを整理し、内容に関連する図書やweb資料などを用いて理解を深める。	2時間
11. イエス・キリストのメッセージ④アガペーの愛を生きる（山根）		
事前学修	教科書の該当部分を読み、論点を整理しておく。	2時間
事後学修	ノートを整理し、内容に関連する図書やweb資料などを用いて理解を深める。	2時間
12. 人間として生きる①〈考える葦〉としての人間（崎川）		
事前学修	教科書の該当部分を読み、論点を整理しておく。	2時間
事後学修	ノートを整理し、内容に関連する図書やweb資料などを用いて理解を深める。	2時間

13. 人間として生きる②ライフサイクルのなかの人間（崎川）		
事前学修	教科書の該当部分を読み、論点を整理しておく。	2時間
事後学修	ノートを整理し、内容に関連する図書やweb資料などを用いて理解を深める。	2時間
14. 人間として生きる③成熟と喪失（崎川）		
事前学修	教科書の該当部分を読み、論点を整理しておく。	2時間
事後学修	ノートを整理し、内容に関連する図書やweb資料などを用いて理解を深める。	2時間
15. 人間として生きる④生かされるいのち（崎川）		
事前学修	教科書の該当部分を読み、論点を整理しておく。	2時間
事後学修	ノートを整理し、内容に関連する図書やweb資料などを用いて理解を深める。	2時間
試験等		
期末レポートを提出してもらう。内容については授業内で指示する。		
試験のフィードバックの方法		
必携書（教科書販売）		
書籍名／著者／発売元出版社／価格／ISBN／媒体種別・備考		
中型聖書 横組 NI34DCH／／日本聖書協会／3100／9784820212027／冊子版		
『新・私たちの人間論』 ノートルダム清心女子大学キリスト教文化研究所（編），大学教育出版，2022年，ISBN9784866921990		
必携書・参考書（教科書販売以外）		
書籍名／著者／発売元出版社／価格／ISBN／媒体種別・備考		
〈参考書〉 授業内で指示する。 必要に応じて適宜プリント資料等を配布する。		
オフィスアワー		
授業内で指示する。質問・相談は随時メールで受け付ける。		
連絡先		
履修全般および特別講義等についての質問・相談は崎川、各回の授業については、それぞれの担当者にて受け付ける。 sakikawa@m.ndsu.ac.jp（崎川） okada@m.ndsu.ac.jp（岡田） yamane@m.ndsu.ac.jp（山根）		
留意事項		
<ul style="list-style-type: none"> ・1～3回目の授業は、学部ごとに合同で行う。4～15回目は各クラスの教室で、3名の担当教員が交代で講義を行う。詳しいスケジュールについては初回に説明する。 ・授業についての連絡は、manaba folioを通じて行う。 ・授業が一方通行にならないように毎回アクションペーパーに意見・質問等を記入してもらう。主体的に授業に臨むこと。 ・『聖書』はできるだけ教科書販売のものを購入すること。既に所持しているものを使いたい場合は、初回授業での指示に従うこと。 		

人間論 [英日]		単位数	2単位
授業コード	10085	科目ナンバリング	100A1-1000-o2
開講年度学期	2025年度第1期		
担当者氏名	山根 道公、崎川 修、岡田 紅理子		
時間割備考	1年次 英文・日文対象		
授業形態 (主)	1 講義		
授業形態 (副)			
担当形態	オムニバス		
研究分野 (大学院)			
本授業の概要			
<p>本学の建学の精神の根幹にあるキリスト教的人間観を、本学の歴史や理念、またその基礎にある聖書やキリスト教思想、哲学的な人間理解を通して考察する。また、キリスト教的価値観に基づいた「生き方」について、自らの問題として考え、実践することを学ぶ。</p>			
アクティブラーニングの実施内容			
到達目標		対応するディプロマポリシー (1 知識・技能/2 思考・判断・表現力/3 主体性)	
1	1. 本学の教育理念および建学の精神の根幹にあるキリスト教的人間観についての基本的知識を獲得し、それについて説明し論じることができる。	知識・技能/思考・判断・表現力	
2	他者への奉仕の精神を、自らの生きる意義の追求と結びつけて理解し、自ら判断し実行することができる。	思考・判断・表現力/主体性	
3			
4			
5			
成績評価の基準		対応する到達目標の番号	
1	受講態度・リアクションペーパー45%	1/2	
2	期末レポート55%	1/2	
3			
4			
5			
実務経験のある教員による授業科目			
実務経験の授業への活用方法			
日本語以外の言語による授業			
授業予定一覧		事前・事後学修内容と時間	
1. 導入：「人間論」で何を学ぶか (崎川)			
事前学修	シラバスと教科書を対照させながら、授業計画の全体について把握し、その目標を理解しておく。	2時間	
事後学修	ノートを整理し、内容に関連する図書やweb資料などを用いて理解を深める。	2時間	
2. 特別講義：聖ジュリー・ピリアートと建学の精神 (津田葵学長)			
事前学修	教科書の該当部分を読み、論点を整理しておく。	2時間	
事後学修	ノートを整理し、内容に関連する図書やweb資料などを用いて理解を深める。	2時間	
3. 特別講義：SDGsとノートルダム清心女子大学 (濱西栄司)			
事前学修	教科書の該当部分を読み、論点を整理しておく。	2時間	
事後学修	ノートを整理し、内容に関連する図書やweb資料などを用いて理解を深める。	2時間	
4. キリスト教の人間理解①キリスト教を学ぶ (岡田)			
事前学修	教科書の該当部分を読み、論点を整理しておく。	2時間	
事後学修	ノートを整理し、内容に関連する図書やweb資料などを用いて理解を深める。	2時間	
5. キリスト教の人間理解②聖書の基本理解 (岡田)			
事前学修	教科書の該当部分を読み、論点を整理しておく。	2時間	
事後学修	ノートを整理し、内容に関連する図書やweb資料などを用いて理解を深める。	2時間	

6. キリスト教の人間理解③旧約聖書における神と人間（岡田）		
事前学修	教科書の該当部分を読み、論点を整理しておく。	2時間
事後学修	ノートを整理し、内容に関連する図書やweb資料などを用いて理解を深める。	2時間
7. キリスト教の人間理解④新約聖書におけるキリストの福音（岡田）		
事前学修	教科書の該当部分を読み、論点を整理しておく。	2時間
事後学修	ノートを整理し、内容に関連する図書やweb資料などを用いて理解を深める。	2時間
8. イエス・キリストのメッセージ①イエスの生き方に学ぶ（山根）		
事前学修	教科書の該当部分を読み、論点を整理しておく。	2時間
事後学修	ノートを整理し、内容に関連する図書やweb資料などを用いて理解を深める。	2時間
9. イエス・キリストのメッセージ②神に結ばれる愛の福音（山根）		
事前学修	教科書の該当部分を読み、論点を整理しておく。	2時間
事後学修	ノートを整理し、内容に関連する図書やweb資料などを用いて理解を深める。	2時間
10. イエス・キリストのメッセージ③あわれみと隣人愛（山根）		
事前学修	教科書の該当部分を読み、論点を整理しておく。	2時間
事後学修	ノートを整理し、内容に関連する図書やweb資料などを用いて理解を深める。	2時間
11. イエス・キリストのメッセージ④アガペーの愛を生きる（山根）		
事前学修	教科書の該当部分を読み、論点を整理しておく。	2時間
事後学修	ノートを整理し、内容に関連する図書やweb資料などを用いて理解を深める。	2時間
12. 人間として生きる①〈考える葦〉としての人間（崎川）		
事前学修	教科書の該当部分を読み、論点を整理しておく。	2時間
事後学修	ノートを整理し、内容に関連する図書やweb資料などを用いて理解を深める。	2時間

13. 人間として生きる②ライフサイクルのなかの人間（崎川）		
事前学修	教科書の該当部分を読み、論点を整理しておく。	2時間
事後学修	ノートを整理し、内容に関連する図書やweb資料などを用いて理解を深める。	2時間
14. 人間として生きる③成熟と喪失（崎川）		
事前学修	教科書の該当部分を読み、論点を整理しておく。	2時間
事後学修	ノートを整理し、内容に関連する図書やweb資料などを用いて理解を深める。	2時間
15. 人間として生きる④生かされるいのち（崎川）		
事前学修	教科書の該当部分を読み、論点を整理しておく。	2時間
事後学修	ノートを整理し、内容に関連する図書やweb資料などを用いて理解を深める。	2時間
試験等		
期末レポートを提出してもらう。内容については授業内で指示する。		
試験のフィードバックの方法		
必携書（教科書販売）		
書籍名／著者／発売元出版社／価格／ISBN／媒体種別・備考		
中型聖書 横組 NI34DCH／／日本聖書協会／3100／9784820212027／冊子版		
『新・私たちの人間論』 ノートルダム清心女子大学キリスト教文化研究所（編），大学教育出版，2022年，ISBN9784866921990		
必携書・参考書（教科書販売以外）		
書籍名／著者／発売元出版社／価格／ISBN／媒体種別・備考		
〈参考書〉 授業内で指示する。 必要に応じて適宜プリント資料等を配布する。		
オフィスアワー		
授業内で指示する。質問・相談は随時メールで受け付ける。		
連絡先		
履修全般および特別講義等についての質問・相談は崎川、各回の授業については、それぞれの担当者にて受け付ける。 sakikawa@m.ndsu.ac.jp（崎川） okada@m.ndsu.ac.jp（岡田） yamane@m.ndsu.ac.jp（山根）		
留意事項		
<ul style="list-style-type: none"> ・1～3回目の授業は、学部ごとに合同で行う。4～15回目は各クラスの教室で、3名の担当教員が交代で講義を行う。詳しいスケジュールについては初回に説明する。 ・授業についての連絡は、manaba folioを通じて行う。 ・授業が一方通行にならないように毎回リアクションペーパーに意見・質問等を記入してもらう。主体的に授業に臨むこと。 ・『聖書』はできるだけ教科書販売のものを購入すること。既に所持しているものを使いたい場合は、初回授業での指示に従うこと。 		

人間論〔国情〕		単位数	2単位
授業コード	10090	科目ナンバリング	100A1-1000-o2
開講年度学期	2025年度第1期		
担当者氏名	崎川 修、岡田 紅理子、山根 道公		
時間割備考	1年次 国際・情報対象		
授業形態(主)	1 講義		
授業形態(副)			
担当形態	オムニバス		
研究分野(大学院)			
本授業の概要			
<p>本学の建学の精神の根幹にあるキリスト教的人間観を、本学の歴史や理念、またその基礎にある聖書やキリスト教思想、哲学的な人間理解を通して考察する。また、キリスト教的価値観に基づいた「生き方」について、自らの問題として考え、実践することを学ぶ。</p>			
アクティブラーニングの実施内容			
到達目標		対応するディプロマポリシー (1 知識・技能/2 思考・判断・表現力/3 主体性)	
1	1. 本学の教育理念および建学の精神の根底にあるキリスト教的人間観についての基本的知識を獲得し、それについて説明し論じることができる。	知識・技能/思考・判断・表現力	
2	他者への奉仕の精神を、自らの生きる意義の追求と結びつけて理解し、自ら判断し実行することができる。	思考・判断・表現力/主体性	
3			
4			
5			
成績評価の基準		対応する到達目標の番号	
1	受講態度・リアクションペーパー45%	1/2	
2	期末レポート55%	1/2	
3			
4			
5			
実務経験のある教員による授業科目			
実務経験の授業への活用方法			
日本語以外の言語による授業			
授業予定一覧		事前・事後学修内容と時間	
1. 導入：「人間論」で何を学ぶか（崎川）			
事前学修	シラバスと教科書を対照させながら、授業計画の全体について把握し、その目標を理解しておく。	2時間	
事後学修	ノートを整理し、内容に関連する図書やweb資料などを用いて理解を深める。	2時間	
2. 特別講義：聖ジュリー・ピリアートと建学の精神（津田葵学長）			
事前学修	教科書の該当部分を読み、論点を整理しておく。	2時間	
事後学修	ノートを整理し、内容に関連する図書やweb資料などを用いて理解を深める。	2時間	
3. 特別講義：SDGsとノートルダム清心女子大学（濱西栄司）			
事前学修	教科書の該当部分を読み、論点を整理しておく。	2時間	
事後学修	ノートを整理し、内容に関連する図書やweb資料などを用いて理解を深める。	2時間	
4. キリスト教の人間理解①キリスト教を学ぶ（岡田）			
事前学修	教科書の該当部分を読み、論点を整理しておく。	2時間	
事後学修	ノートを整理し、内容に関連する図書やweb資料などを用いて理解を深める。	2時間	
5. キリスト教の人間理解②聖書の基本理解（岡田）			
事前学修	教科書の該当部分を読み、論点を整理しておく。	2時間	
事後学修	ノートを整理し、内容に関連する図書やweb資料などを用いて理解を深める。	2時間	

6. キリスト教の人間理解③旧約聖書における神と人間（岡田）		
事前学修	教科書の該当部分を読み、論点を整理しておく。	2時間
事後学修	ノートを整理し、内容に関連する図書やweb資料などを用いて理解を深める。	2時間
7. キリスト教の人間理解④新約聖書におけるキリストの福音（岡田）		
事前学修	教科書の該当部分を読み、論点を整理しておく。	2時間
事後学修	ノートを整理し、内容に関連する図書やweb資料などを用いて理解を深める。	2時間
8. イエス・キリストのメッセージ①イエスの生き方に学ぶ（山根）		
事前学修	教科書の該当部分を読み、論点を整理しておく。	2時間
事後学修	ノートを整理し、内容に関連する図書やweb資料などを用いて理解を深める。	2時間
9. イエス・キリストのメッセージ②神に結ばれる愛の福音（山根）		
事前学修	教科書の該当部分を読み、論点を整理しておく。	2時間
事後学修	ノートを整理し、内容に関連する図書やweb資料などを用いて理解を深める。	2時間
10. イエス・キリストのメッセージ③あわれみと隣人愛（山根）		
事前学修	教科書の該当部分を読み、論点を整理しておく。	2時間
事後学修	ノートを整理し、内容に関連する図書やweb資料などを用いて理解を深める。	2時間
11. イエス・キリストのメッセージ④アガペーの愛を生きる（山根）		
事前学修	教科書の該当部分を読み、論点を整理しておく。	2時間
事後学修	ノートを整理し、内容に関連する図書やweb資料などを用いて理解を深める。	2時間
12. 人間として生きる①〈考える葦〉としての人間（崎川）		
事前学修	教科書の該当部分を読み、論点を整理しておく。	2時間
事後学修	ノートを整理し、内容に関連する図書やweb資料などを用いて理解を深める。	2時間

13. 人間として生きる②ライフサイクルのなかの人間（崎川）		
事前学修	教科書の該当部分を読み、論点を整理しておく。	2時間
事後学修	ノートを整理し、内容に関連する図書やweb資料などを用いて理解を深める。	2時間
14. 人間として生きる③成熟と喪失（崎川）		
事前学修	教科書の該当部分を読み、論点を整理しておく。	2時間
事後学修	ノートを整理し、内容に関連する図書やweb資料などを用いて理解を深める。	2時間
15. 人間として生きる④生かされるいのち（崎川）		
事前学修	教科書の該当部分を読み、論点を整理しておく。	2時間
事後学修	ノートを整理し、内容に関連する図書やweb資料などを用いて理解を深める。	2時間
試験等		
期末レポートを提出してもらう。内容については授業内で指示する。		
試験のフィードバックの方法		
必携書（教科書販売）		
書籍名／著者／発売元出版社／価格／ISBN／媒体種別・備考		
中型聖書 横組 NI34DCH／／日本聖書協会／3100／9784820212027／冊子版		
『新・私たちの人間論』 ノートルダム清心女子大学キリスト教文化研究所（編），大学教育出版，2022年，ISBN9784866921990		
必携書・参考書（教科書販売以外）		
書籍名／著者／発売元出版社／価格／ISBN／媒体種別・備考		
〈参考書〉 授業内で指示する。 必要に応じて適宜プリント資料等を配布する。		
オフィスアワー		
授業内で指示する。質問・相談は随時メールで受け付ける。		
連絡先		
履修全般および特別講義等についての質問・相談は崎川、各回の授業については、それぞれの担当者にて受け付ける。 sakikawa@m.ndsu.ac.jp（崎川） okada@m.ndsu.ac.jp（岡田） yamane@m.ndsu.ac.jp（山根）		
留意事項		
<ul style="list-style-type: none"> ・1～3回目の授業は、学部ごとに合同で行う。4～15回目は各クラスの教室で、3名の担当教員が交代で講義を行う。詳しいスケジュールについては初回に説明する。 ・授業についての連絡は、manaba folioを通じて行う。 ・授業が一方通行にならないように毎回アクションペーパーに意見・質問等を記入してもらう。主体的に授業に臨むこと。 ・『聖書』はできるだけ教科書販売のものを購入すること。既に所持しているものを使いたい場合は、初回授業での指示に従うこと。 		

キリスト教I			単位数	2単位	
授業コード	10135	科目ナンバリング	100B1-1234-o2	開講年度学期	2025年度第2期
担当者氏名	山根 道公				
時間割備考					
授業形態(主)	1 講義				
授業形態(副)					
担当形態	単独				
研究分野(大学院)					
本授業の概要					
死にたいと思うほどの人生の挫折の中で聖書に出会い、生きる希望の光を見出し、それを作品に表わした人たちがいる。本授業ではそうした作品を導入とし、新約聖書と遠藤周作『イエスの生涯』をテキストにして、新約聖書の福音書を中心にイエスの生涯と教えについて学び、闇の中にいる人間に希望の光を与えるイエスの福音(喜びの知らせ)とはどのような精神、価値観をもつものかを考察することで、そうしたキリスト教的精神、価値観が、現代社会にあってどのような意味をもつか、理解し、さらに自分自身の問題とどのような関わりをもつか、主体的に考える力を身につけることを目的とする。また、そうした理解に必要なキリスト教の基礎知識を修得する。					
アクティブラーニングの実施内容					
到達目標			対応するディプロマポリシー (1 知識・技能/2 思考・判断・表現力/3 主体性)		
1	1. キリスト教の原点であるイエスの生涯とその福音について説明することができる。		知識・技能/思考・判断・表現力		
2	2. そうしたキリスト教的精神が現代社会にあってどのような意味をもつか、さらに自分の問題とどのように関わるか、自分の考えを述べることができる。		思考・判断・表現力/主体性		
3	3. 1・2のために必要なキリスト教の基礎知識を説明することができる。		知識・技能		
4					
5					
成績評価の基準			対応する到達目標の番号		
1	・毎回課すリアクションレポート(授業および関連する聖書、キリスト教について意見、質問、感想等を書いて提出)…45%		2		
2	・期末レポート…55%		1/2/3		
3					
4					
5					
実務経験のある教員による授業科目					
実務経験の授業への活用方法					
日本語以外の言語による授業					
授業予定一覧			事前・事後学修内容と時間		
1. イントロダクション					
事前学修	シラバスを必ず事前に読んで、授業で学ぶことと自分の問題意識との接点について考えておくこと			2時間	
事後学修	授業を振り返り、自分の意見、質問、感想等をまとめてリアクションレポートとしてmanaバで提出すること。また、期末レポートでは、授業で取り上げた重要なテーマをまとめる課題を出すので、毎回授業のまとめをしておくこと。			2時間	
2. 『新約聖書』の構成・風土的背景					
事前学修	授業のテキストの範囲を伝えるので、必ず事前に読んで、関連の聖書の箇所、疑問点など確認しておくこと。			2時間	
事後学修	授業を振り返り、自分の意見、質問、感想等をまとめてリアクションレポートとしてmanaバで提出すること。また、期末レポートでは、授業で取り上げた重要なテーマをまとめる課題を出すので、毎回授業のまとめをしておくこと。			2時間	
3. イエスの生誕、クリスマスの意味					
事前学修	授業のテキストの範囲を伝えるので、必ず事前に読んで、関連の聖書の箇所、疑問点など確認しておくこと。			2時間	
事後学修	授業を振り返り、自分の意見、質問、感想等をまとめてリアクションレポートとしてmanaバで提出すること。また、期末レポートでは、授業で取り上げた重要なテーマをまとめる課題を出すので、毎回授業のまとめをしておくこと。			2時間	
4. 洗礼者ヨハネとイエス、メシアニズム					
事前学修	授業のテキストの範囲を伝えるので、必ず事前に読んで、関連の聖書の箇所、疑問点など確認しておくこと。			2時間	
事後学修	授業を振り返り、自分の意見、質問、感想等をまとめてリアクションレポートとしてmanaバで提出すること。また、期末レポートでは、授業で取り上げた重要なテーマをまとめる課題を出すので、毎回授業のまとめをしておくこと。			2時間	
5. 神の国の福音宣教、公生活の開始					
事前学修	授業のテキストの範囲を伝えるので、必ず事前に読んで、関連の聖書の箇所、疑問点など確認しておくこと。			2時間	
事後学修	授業を振り返り、自分の意見、質問、感想等をまとめてリアクションレポートとしてmanaバで提出すること。また、期末レポートでは、授業で取り上げた重要なテーマをまとめる課題を出すので、毎回授業のまとめをしておくこと。			2時間	

6. 奇蹟物語と慰め物語		
事前学修	授業のテキストの範囲を伝えるので、必ず事前に読んで、関連の聖書の箇所、疑問点など確認しておくこと。	2時間
事後学修	授業を振り返り、自分の意見、質問、感想等をまとめてリアクションレポートとしてマナバで提出すること。また、期末レポートでは、授業で取り上げた重要なテーマをまとめる課題を出すので、毎回授業のまとめをしておくこと。	2時間
7. イエスの祈り		
事前学修	授業のテキストの範囲を伝えるので、必ず事前に読んで、関連の聖書の箇所、疑問点など確認しておくこと。	2時間
事後学修	授業を振り返り、自分の意見、質問、感想等をまとめてリアクションレポートとしてマナバで提出すること。また、期末レポートでは、授業で取り上げた重要なテーマをまとめる課題を出すので、毎回授業のまとめをしておくこと。	2時間
8. ユダヤ教指導者層との対決、安息日論争		
事前学修	授業のテキストの範囲を伝えるので、必ず事前に読んで、関連の聖書の箇所、疑問点など確認しておくこと。	2時間
事後学修	授業を振り返り、自分の意見、質問、感想等をまとめてリアクションレポートとしてマナバで提出すること。また、期末レポートでは、授業で取り上げた重要なテーマをまとめる課題を出すので、毎回授業のまとめをしておくこと。	2時間
9. 北ガリラヤへの逃避行、受難と死の予告		
事前学修	授業のテキストの範囲を伝えるので、必ず事前に読んで、関連の聖書の箇所、疑問点など確認しておくこと。	2時間
事後学修	授業を振り返り、自分の意見、質問、感想等をまとめてリアクションレポートとしてマナバで提出すること。また、期末レポートでは、授業で取り上げた重要なテーマをまとめる課題を出すので、毎回授業のまとめをしておくこと。	2時間
10. 死を覚悟したエルサレムへの旅		
事前学修	授業のテキストの範囲を伝えるので、必ず事前に読んで、関連の聖書の箇所、疑問点など確認しておくこと。	2時間
事後学修	授業を振り返り、自分の意見、質問、感想等をまとめてリアクションレポートとしてマナバで提出すること。また、期末レポートでは、授業で取り上げた重要なテーマをまとめる課題を出すので、毎回授業のまとめをしておくこと。	2時間
11. エルサレム入城と最後の晩餐		
事前学修	授業のテキストの範囲を伝えるので、必ず事前に読んで、関連の聖書の箇所、疑問点など確認しておくこと。	2時間
事後学修	授業を振り返り、自分の意見、質問、感想等をまとめてリアクションレポートとしてマナバで提出すること。また、期末レポートでは、授業で取り上げた重要なテーマをまとめる課題を出すので、毎回授業のまとめをしておくこと。	2時間
12. イエスの受難と十字架の死		
事前学修	授業のテキストの範囲を伝えるので、必ず事前に読んで、関連の聖書の箇所、疑問点など確認しておくこと。	2時間
事後学修	授業を振り返り、自分の意見、質問、感想等をまとめてリアクションレポートとしてマナバで提出すること。また、期末レポートでは、授業で取り上げた重要なテーマをまとめる課題を出すので、毎回授業のまとめをしておくこと。	2時間

13. イエスの復活顕現物語		
事前学修	授業のテキストの範囲を伝えるので、必ず事前に読んで、関連の聖書の箇所、疑問点など確認しておくこと。	2時間
事後学修	授業を振り返り、自分の意見、質問、感想等をまとめてリアクションレポートとしてマナバで提出すること。また、期末レポートでは、授業で取り上げた重要なテーマをまとめる課題を出すので、毎回授業のまとめをしておくこと。	2時間
14. 現代人とイエスの福音		
事前学修	授業のテキストの範囲を伝えるので、必ず事前に読んで、関連の聖書の箇所、疑問点など確認しておくこと。	2時間
事後学修	授業を振り返り、自分の意見、質問、感想等をまとめてリアクションレポートとしてマナバで提出すること。また、期末レポートでは、授業で取り上げた重要なテーマをまとめる課題を出すので、毎回授業のまとめをしておくこと。	2時間
15. まとめ・（期末レポートについて）		
事前学修	これまでの授業全体を振り返り、疑問点や理解の不十分な点など整理しておく。	2時間
事後学修	授業を振り返り、自分の意見、質問、感想等をまとめてリアクションレポートとしてマナバで提出すること。また、期末レポートでは、授業で取り上げた重要なテーマをまとめる課題を出すので、毎回授業のまとめをしておくこと。	2時間
試験等		
期末レポート（課題の内容については授業で説明する）		
試験のフィードバックの方法		
必要に応じてマナバを通して行う。		
必携書（教科書販売）		
書籍名／著者／発売元出版社／価格／ISBN／媒体種別・備考		
【改版】イエスの生涯／遠藤周作／著／新潮社／550／9784101123165／冊子版		
<必携書> 遠藤周作『イエスの生涯』（新潮文庫）		
必携書・参考書（教科書販売以外）		
書籍名／著者／発売元出版社／価格／ISBN／媒体種別・備考		
<必携書> 『聖書』		
オフィスアワー		
・オフィスアワーは金曜日12：30-13：00。質問等の仕方については授業中に指示する。		
連絡先		
yamane@m.ndsu.ac.jp		
留意事項		
・授業が一方通行にならないようにリアクションレポートに毎回、授業の内容に対する意見・質問、またキリスト教の知識についての質問等を書いてもらい、次の授業の冒頭で応答するので、受講者は主体的に授業に臨み、自分の問題として考えること。		

キリスト教II			単位数	2単位	
授業コード	10145	科目ナンバリング	100B1-2340-o2	開講年度学期	2025年度第1期
担当者氏名	岡田 紅理子				
時間割備考					
授業形態(主)	1 講義				
授業形態(副)					
担当形態	単独				
研究分野(大学院)					
本授業の概要					
キリスト教の成立と発展の中核にあるのは、イエスという人物を「神の子キリスト(救い主)」とする信仰である。しかし本科目のねらいは、イエスがなぜキリストなのかというよりも、歴史上に実在したナザレのイエスがどのような人物であったのかを、「史的イエス」研究を手がかりとして探究することにある。具体的には、イエスが生きた当時の社会、文化、政治的背景を踏まえつつ、「罪人」とかカテゴライズされた人々とともに生き、皮肉やユーモアを交えた言葉と具体的な行動によって権力と抑圧に抗った、喜怒哀楽の感情を持つイエスの人間像に迫り、キリスト教の原点を捉えていく。					
アクティブラーニングの実施内容		発見学習			
到達目標			対応するディプロマポリシー (1 知識・技能/2 思考・判断・表現力/3 主体性)		
1	聖書に記された事柄を字面通りに読み、理解しようとするのではなく、それが伝えようとするメッセージを考察できる		知識・技能/主体性		
2	聖書に記された出来事の史実性/非科学性を問うのではなく、それが伝えようとするメッセージを考察できる		思考・判断・表現力/主体性		
3	イエスの言動を踏まえ、(過度に神聖化した遠く離れた存在ではない)「自分にとってのイエス」像を論理的かつ具体的に説明できる		知識・技能/思考・判断・表現力/主体性		
4	イエスのことばと実践が、現代を生きる自分に何を問いかけているのかを検討できる		知識・技能/思考・判断・表現力/主体性		
5					
成績評価の基準			対応する到達目標の番号		
1	授業への取り組み態度 10%		1/2		
2	リアクションペーパー 40%		1/2/3/4		
3	レポート 50%		1/2/3/4		
4					
5					
実務経験のある教員による授業科目					
実務経験の授業への活用方法					
日本語以外の言語による授業					
授業予定一覧		事前・事後学修内容と時間			
イントロダクション					
事前学修	履修する理由、意義を考え、まとめる			1時間	
事後学修	イントロダクションを踏まえて考えた(考え直した)履修する理由、意義を整理、まとめる			1時間	
2. 聖書とは					
事前学修	聖書がいかなる書物なのかについて、書籍を探して調べ、まとめる			2時間	
事後学修	講義内容を整理し、まとめる。また、講義内容を意識しながら講読した聖書箇所を再読する			2時間	
3. イエスが生きた時代					
事前学修	イエスが生きていた時代について、書籍を探して調べ、まとめる			2時間	
事後学修	講義内容を整理し、まとめる。また、講義内容を意識しながら講読した聖書箇所を再読する			2時間	
4. イエスの幼年期					
事前学修	幼年のイエスについて書籍を探して調べ、まとめる			2時間	
事後学修	講義内容を整理し、まとめる。また、講義内容を意識しながら講読した聖書箇所を再読する			2時間	
5. 洗礼者ヨハネとの出会い					
事前学修	「洗礼者ヨハネ」とはどのような人物で、洗礼者ヨハネとの出会いはイエスにとってどのような出来事だったのかについて、書籍を探して調べ、まとめる			2時間	
事後学修	講義内容を整理し、まとめる。また、講義内容を意識しながら講読した聖書箇所を再読する			2時間	

6. イエスの自立		
事前学修	イエスの「公生活」とはなんであり、イエスがいかなる想いを抱いて「公生活」を開始したのかについて、書籍を探して調べ、まとめる	2時間
事後学修	講義内容を整理し、まとめる。また、講義内容を意識しながら講読した聖書箇所を再読する	2時間
7. イエスがかがみ込んだ先の人々		
事前学修	イエスが接した「罪人」とはどのような人々なのかについて、書籍を探して調べ、まとめる	1時間
事後学修	講義内容を整理し、まとめる。また、講義内容を意識しながら講読した聖書箇所を再読する	3時間
8. イエスが起こした奇跡		
事前学修	自分がイメージする「奇跡」と、聖書に描かれている「奇跡」の相違点・共通点はなんなのかについて、書籍を探して調べ、まとめる	2時間
事後学修	講義内容を整理し、まとめる。また、講義内容を意識しながら講読した聖書箇所を再読する	2時間
9. イエスが説いた神		
事前学修	「イエスが説いた神」とはどのような神なのか、旧約で描かれた神との違いについて、書籍を探して調べ、まとめる	2時間
事後学修	講義内容を整理し、まとめる。また、講義内容を意識しながら講読した聖書箇所を再読する	2時間
10. 律法学者たちとイエス		
事前学修	「律法学者たち」とはどのような人物で、なぜイエスはかれらと関わったのかについて、書籍を探して調べ、まとめる	2時間
事後学修	講義内容を整理し、まとめる。また、講義内容を意識しながら講読した聖書箇所を再読する	2時間
11. イエスが説いた愛と交わり		
事前学修	イエスのこれまでの言動を踏まえて「隣人愛」とはどのような教えなのかについて書籍を探して調べ、他者に「優しくする」「親切にする」といった言説を批判的に考察し、まとめる	3時間
事後学修	講義内容を整理し、まとめる。また、講義内容を意識しながら講読した聖書箇所を再読する	3時間
12. イエスの危機		
事前学修	イエスが直面した危機について、書籍を探して調べ、まとめる	2時間
事後学修	講義内容を整理し、まとめる。また、講義内容を意識しながら講読した聖書箇所を再読する	2時間

13. イエスの受難と死、復活		
事前学修	受難と死を前に、イエスがいかに応答したのかについて、書籍を探して調べ、まとめる	2時間
事後学修	講義内容を整理し、まとめる。また、講義内容を意識しながら講読した聖書箇所を再読する	2時間
14. わたしにとってのイエス：ある司祭の語り（学外講師）		
事前学修	これまでの講義を振り返り、イエスは自分に何を問い、訴えているのか考察し、まとめる	1時間
事後学修	講義内容を整理、まとめる。また、過度に神聖化した遠く離れた存在とせず、自分にとってのイエスの人物像を考察する	3時間
15. わたしにとってのイエス：ある修道女の語り（学外講師）		
事前学修	これまでの講義を振り返り、イエスは自分に何を問い、訴えているのか考察し、まとめる	1時間
事後学修	講義内容を整理、まとめる。また、過度に神聖化した遠く離れた存在とせず、自分にとってのイエスの人物像を考察する	3時間
試験等		
レポート		
試験のフィードバックの方法		
メールでの質問を受け付ける。		
必携書（教科書販売）		
書籍名／著者／発売元出版社／価格／ISBN／媒体種別・備考		
必携書・参考書（教科書販売以外）		
書籍名／著者／発売元出版社／価格／ISBN／媒体種別・備考		
中型聖書 横組 NI34DCH／／日本聖書協会／3100／9784820212027／冊子版		
<p><課題図書></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ジョン・ディア『山上の説教を生きる：八福の教えと平和創造』志村真（訳）、新教出版社、2021 ISBN 978-4-40-040754-6 ・本田哲郎『釜ヶ崎と福音：神は貧しく小さくされた者と共に』岩波書店、2015 ISBN 978-4-00-603282-1 <p><参考書></p> <ul style="list-style-type: none"> ・佐藤望ほか『アカデミックスキルズ 大学生のための知的技法入門（第3版）』慶應義塾大学出版会、2020 ISBN 978-4-7664-2656-4 <p>*その他は授業時またレジュメにおいて示す。</p>		
オフィスアワー		
火曜3限あるいはアポイントメント		
連絡先		
okada@m.ndsu.ac.jp		
留意事項		
<ul style="list-style-type: none"> ・manaba folioを利用するので、各自必ずリマインダ登録しておくこと。 ・履修者数や履修者の理解度に応じて、授業形式やスケジュールに変更が生じる可能性がある。 <p>* 本科目は2022年度2期において「キリスト教学X」として開講していた科目である。そのため、同科目の単位を取得した学生は他の「キリスト教学」科目の履修を優先すること。仮に同科目の単位を取得した学生が本科目の履修・聴講を希望する場合は、履修登録を完了させるよりも前に、必ずメールにて相談すること。</p>		

キリスト教III		単位数	2単位
授業コード	10155	科目ナンバリング	100B1-1234-o2
開講年度学期	2025年度第2期		
担当者氏名	崎川 修		
時間割備考			
授業形態(主)	1 講義		
授業形態(副)	2 演習		
担当形態	単独		
研究分野(大学院)			
本授業の概要			
本講義では、主にクリスマスを中心として、キリスト教の典礼や宗教文化とその意義について多面的に学ぶ。とくに本学のクリスマスミサおよび関連行事の準備と実施を通じて、ミサを中心としたカトリックの祈りの文化についての理解を深め、本学の建学の精神を主体的、協働的に体得することを目指す。			
アクティブラーニングの実施内容	グループ・ワーク		
到達目標			対応するディプロマポリシー (1 知識・技能/2 思考・判断・表現力/3 主体性)
1	カトリックのミサや祈りの文化についての基本的な知識を備え、それについて説明することができる。	知識・技能	
2	クリスマスの準備とミサの実施を通して、祈りの場をつくるための実践的な課題に主体的に向き合い、他者と協働してそれらを解決することができる。	思考・判断・表現力/主体性	
3			
4			
5			
成績評価の基準			対応する到達目標の番号
1	リアクションペーパー 20%	1	
2	クリスマスの準備とミサへの参加 40%	2	
3	レポート 40%	1	
4			
5			
実務経験のある教員による授業科目	実務あり		
実務経験の授業への活用方法			
カトリック司祭、および慈善活動を行っているNPO法人理事による特別講義を通じて、クリスマスの意義を生きた祈りと社会的実践のうちに理解することを促す。			
日本語以外の言語による授業			
授業予定一覧		事前・事後学修内容と時間	
1. オリエンテーション			
事前学修	シラバスから講義の概要や進め方を確認し、講義の目的について理解しておく。	2時間	
事後学修	ノートを整理してリアクションを作成する。また関連する聖書の箇所や参考書、web資料などを用いて授業内容の理解を深め、グループ分け選択の準備を行う。	2時間	
2. クリスマスの歴史と意義			
事前学修	講義内容に関する予備知識を、図書やwebなどで収集し、整理しておく。	2時間	
事後学修	ノートを整理してリアクションを作成する。また関連する資料等を収集し、講義の内容についての理解を深める。	2時間	
3. キリスト教の暦と祈りの文化			
事前学修	講義内容に関する予備知識を、図書やwebなどで収集し、整理しておく。	2時間	
事後学修	ノートを整理してリアクションを作成する。また関連する資料等を収集し、講義の内容についての理解を深める。	2時間	
4. サンタクロースになるということ(特別講義)			
事前学修	講義内容に関する予備知識を、図書やwebなどで収集し、整理しておく。	2時間	
事後学修	ノートを整理してリアクションを作成する。また関連する資料等を収集し、講義の内容についての理解を深める。	2時間	
5. グループワーク			
事前学修	事前に行われるグループ分けに従い、自分の配属されたグループの実習内容について計画を立て、意見を整理しておく。	2時間	
事後学修	グループワークの成果をグループ内で共有し、今後の計画を確認し、必要な準備と情報収集を行う。	2時間	

6. クリスマスを迎えるために（特別講義）		
事前学修	これまでのノート、資料を整理して、クリスマスの意義についてまとめ、自分の学習課題について整理しておく。	2時間
事後学修	ノートを整理してリアクションを作成する。また関連する聖書の箇所を丁寧に読み、講義の内容についての理解を深める。	2時間
7. 聖書の中のクリスマス／グループワーク		
事前学修	指定された聖書の箇所を読み、そのメッセージや印象について整理しておく。 グループごとに必要なクリスマスの準備について確認したうえで、協力して進めておく。	2時間
事後学修	ノートを整理してリアクションを作成する。また関連する聖書の箇所を丁寧に読み、講義の内容についての理解を深める。 グループごとに必要なクリスマスの準備について確認したうえで、協力して進めておく。	2時間
8. クリスマスの文化／グループワーク		
事前学修	クリスマスに関する芸術・文化・生活などについて、資料を収集し、知識を整理しておく。 グループワークに必要な資料や、話し合っておくべき問題などについて準備しておく。	2時間
事後学修	ノートを整理してリアクションを作成する。また関連する資料をさらに調べ、講義の内容についての理解を深める。 グループごとに必要なクリスマスの準備を、協力して進めておく。	2時間
9. クリスマスキャロルを歌う（特別講義）		
事前学修	事前に配布する楽譜を見て、あらかじめ譜読みをし、言葉の意味などについても調べておく。	2時間
事後学修	講義内容に従って、クリスマスミサで歌う聖歌を繰り返し練習しておく。また関連するweb動画などを活用して、理解を深める。 グループごとに必要なクリスマスの準備を、協力して進めておく。	2時間
10. クリスマスの準備（飾り付けの実施・グループワーク）		
事前学修	グループごとに必要なクリスマスの準備について確認したうえで、協力して進めておく。	2時間
事後学修	クリスマスの準備状況を整理・確認し、必要なことがあればグループで共有して対応を進める。	2時間
11. 点灯式・アドヴェントの集い		
事前学修	当日に向けて必要な準備を行う。点灯式の意義について、聖書やこれまでの授業内容に照らして考察し理解を深めておく。	2時間
事後学修	点灯式の意義について振り返り、リアクションを作成する。当日の聖書箇所を再読みし理解を深める。	2時間
12. ミサの準備（リハーサル）		
事前学修	ミサの意義や流れなどについて、事前に配布する資料や授業内容から整理、把握しておく。	2時間
事後学修	式次第を用いてミサの流れを復習し、祈りの言葉や聖歌、動作とその意味などについて理解を深めておく。	2時間

13. ともに祝うクリスマス（ミサへの参加）		
事前学修	ミサの流れを式次第を通して再確認しておく。取り上げられる聖書箇所を、前後も含めて丁寧に読み、理解を深めておく。	2時間
事後学修	クリスマスミサに参加した印象をリアクションにまとめながら、クリスマスを祝うことの意義について、自己の生の文脈の中で考察し、整理しておく。	2時間
14. 片付けとグループでの振り返り		
事前学修	グループごとに必要な片付けの内容を確認しておく。必要のないグループは振り返りを行うので、反省点や感想をまとめておく。	2時間
事後学修	クリスマスの行事实施を通しての感想や反省点をまとめ、クリスマスの意義と結びつけて整理しておく。	2時間
15. まとめ		
事前学修	これまでの配布資料やノートを整理して、自分自身の問題意識や気づきについて整理し、疑問点などがあれば資料収集等を行い調査しておく。	2時間
事後学修	授業のノート、グループワークの資料などを整理して、自分の取り組んだ課題や目標について確認し、レポート作成に向けて必要な情報を収集する。	2時間
試験等		
期末レポートを提出してもらう。内容については授業内で指示する。		
試験のフィードバックの方法		
必携書（教科書販売）		
書籍名／著者／発売元出版社／価格／ISBN／媒体種別・備考		
必携書・参考書（教科書販売以外）		
書籍名／著者／発売元出版社／価格／ISBN／媒体種別・備考		
<必携書> 『聖書 新共同訳』, 日本聖書協会 <参考書等> 授業内で指示する		
オフィスアワー		
授業内にて指示する。質問・相談は随時、電子メールで受け付ける。		
連絡先		
sakikawa@m.ndsu.ac.jp		
留意事項		
<ul style="list-style-type: none"> ・履修定員は60名とする。（N先着） （受講できなかった場合でも、クリスマスミサ等の行事には参加可能） ・初回に希望を取り、クリスマス行事の準備と実施のためのグループ分けを行う。 ・各授業の中で、各グループによる準備演習を進めていく予定である。授業外の時間にも行事準備などのグループワークが必要となる場合があるため、活動への参加が難しい学生は受講を勧めない。 ・毎回講義内、もしくはmanabaでリアクションを提出してもらう。未提出が5回を超える場合には単位を与えないことがあるので注意すること。 ・行事を主体的につくりあげていく積極性を備えた学生の受講を求める。 		

キリスト教学IV		単位数	2単位
授業コード	10165	科目ナンバリング	100B1-2340-o2
開講年度学期	2025年度第1期		
担当者氏名	西井 麻美		
時間割備考			
授業形態(主)	1 講義		
授業形態(副)	2 演習		
担当形態	単独		
研究分野(大学院)			
本授業の概要			
現代社会に対して、カトリックは、どのように向き合うことを勧めているだろうか。キリスト教文化への理解を深めると共に、現代社会の様々な課題(持続可能な社会づくり、平和、多文化共生、女性と教育、など)に関わって出されているカトリックのメッセージに注目して、これからの社会を生きる指針について考える。教皇のメッセージなど、文献や資料を参照しながら、話し合いを行う。			
アクティブラーニングの実施内容	グループ・ディスカッション		
到達目標			対応するディプロマポリシー (1 知識・技能/2 思考・判断・表現力/3 主体性)
1	キリスト教的価値観や文化について説明できる	知識・技能/思考・判断・表現力	
2	キリスト教的価値観を自らの生活に活かす省察ができる。	知識・技能/思考・判断・表現力/主体性	
3	現代社会にひきつけてカトリックの精神について説明できる。	知識・技能/思考・判断・表現力/主体性	
4			
5			
成績評価の基準			対応する到達目標の番号
1	課題レポート……40%	1/2/3	
2	ディスカッション・授業レポート……60%	1/2/3	
3			
4			
5			
実務経験のある教員による授業科目			
実務経験の授業への活用方法			
日本語以外の言語による授業			
授業予定一覧		事前・事後学修内容と時間	
1. オリエンテーション			
事前学修	シラバスを事前にチェックし、関心のあるキリスト教の動向を調べる。	約120分	
事後学修	第1回オリエンテーションで学んだことを整理しながら、ポートフォリオを作成する。	約120分	
2. キリスト教のイメージ			
事前学修	キリスト教について自分のイメージをまとめ、必要に応じて、自主的に図書館等で参考資料を調べる。	約120分	
事後学修	第2回授業で学んだことを整理しながら、ポートフォリオを作成する。	約120分	
3. カトリックのイメージ			
事前学修	カトリックについて自分のイメージをまとめ、必要に応じて、自主的に図書館等で参考資料を調べる。	約120分	
事後学修	第3回授業で学んだことを整理しながら、ポートフォリオを作成する。	約120分	
4. 女性とキリスト教			
事前学修	女性に係る社会の動向に目を向け、必要に応じて、参考となる資料を調べる。	約120分	
事後学修	第4回授業で学んだことを整理しながら、ポートフォリオを作成する。	約120分	
5. キリスト教精神を読み解く：聖母マリア			
事前学修	授業テーマに関する資料に当たる。	約120分	
事後学修	第5回授業で学んだことを整理しながら、ポートフォリオを作成する。	約120分	

6 キリスト教精神を読み解く：天使		
事前学修	授業テーマに関する資料に当たる。	約120分
事後学修	第6回授業で学んだことを整理しながら、ポートフォリオを作成する。	約120分
7 キリスト教精神を読み解く：諸聖人		
事前学修	授業テーマに関する資料に当たる。	約120分
事後学修	第7回授業で学んだことを整理しながら、ポートフォリオを作成する。	約120分
8 カトリック精神を読み解く：イエス・死について		
事前学修	授業テーマに関する資料に当たる。	約120分
事後学修	第8回授業で学んだことを整理しながら、ポートフォリオを作成する。	約120分
9 たとえ話から学ぶ：命・天地創造		
事前学修	授業テーマに関する資料に当たる。	約120分
事後学修	第9回授業で学んだことを整理しながら、ポートフォリオを作成する。	約120分
10 たとえ話から学ぶ：知恵		
事前学修	授業テーマに関する資料に当たる。	約120分
事後学修	第10回授業で学んだことを整理しながら、ポートフォリオを作成する。	約120分
11 現代社会課題とキリスト教		
事前学修	授業テーマに関する資料に当たる。	約120分
事後学修	第11回授業で学んだことを整理しながら、ポートフォリオを作成する。	約120分
12 キリスト教精神を読み解く：被造界		
事前学修	授業テーマに関する資料に当たる。	約120分
事後学修	第12回授業で学んだことを整理しながら、ポートフォリオを作成する。	約120分

13 キリスト教の宗教行事を通して考える		
事前学修	授業テーマに関する資料に当たる。	約120分
事後学修	第13回授業で学んだことを整理しながら、ポートフォリオを作成する。	約120分
14 キリスト教に関する人々から考える		
事前学修	授業テーマに関する資料に当たる。	約120分
事後学修	第14回授業で学んだことを整理しながら、ポートフォリオを作成する。	約120分
15 まとめ		
事前学修	これまでの授業を振り返る。	約120分
事後学修	これまでの授業で学んだことを整理しながら、ポートフォリオを作成する。	約120分
試験等		
レポート		
試験のフィードバックの方法		
解説を行う。		
必携書（教科書販売）		
書籍名／著者／発売元出版社／価格／ISBN／媒体種別・備考		
必携書・参考書（教科書販売以外）		
書籍名／著者／発売元出版社／価格／ISBN／媒体種別・備考		
聖書		
その他、授業中に指示する。		
オフィスアワー		
授業後（長時間の相談が必要な場合日時を相談して決める）		
連絡先		
マナバフォリオに連絡・質問用スレッドをたてる。		
留意事項		
<ul style="list-style-type: none"> ・話し合いの時間を取り入れる。 ・定員を20名とする（教務への登録順）。 		

キリスト教V		単位数	2単位
授業コード	10175	科目ナンバリング	100B1-2340-o2
開講年度学期	2025年度第1期		
担当者氏名	西井 麻美、小林 謙一		
時間割備考			
授業形態(主)	1 講義		
授業形態(副)	2 演習		
担当形態	オムニバス		
研究分野(大学院)			
本授業の概要			
混沌とする現代社会において、キリスト教的ヒューマニズムに依拠した「人に寄り添い 子どもを育てる」文化を作ることを目指す指針を多様な分野から探り、キリスト教的文化や精神についての理解を深めていく。講義に加え、グループディスカッションを取り入れる。			
アクティブラーニングの実施内容	グループ・ディスカッション		
到達目標			対応するディプロマポリシー (1 知識・技能/2 思考・判断・表現力/3 主体性)
1	キリスト教的ヒューマニズムについて説明できる。	知識・技能/思考・判断・表現力	
2	キリスト教的文化や精神を踏まえて授業のテーマについて説明できる。	知識・技能/思考・判断・表現力/主体性	
3			
4			
5			
成績評価の基準			対応する到達目標の番号
1	授業への取り組み態度(リアクションペーパー、ディスカッション、発表) 60%	1/2	
2	レポート 40%	1/2	
3			
4			
5			
実務経験のある教員による授業科目			
実務経験の授業への活用方法			
日本語以外の言語による授業			
授業予定一覧		事前・事後学修内容と時間	
1. オリエンテーション(西井麻美)			
事前学修	シラバスを事前にチェックし、必要に応じて、関連する資料を検索する。	約120分	
事後学修	講義内容を確認、整理するとともに、自分の考えをメモに残す	約120分	
2. キリスト教的ヒューマニズム概論(西井麻美)			
事前学修	授業のテーマに関連する事柄や資料を調べる。	約120分	
事後学修	第2回授業のまとめを行い、ポートフォリオを作成する。	約120分	
3. 『食』から見た宗教 ～キリスト教を中心にして(小林謙一)			
事前学修	事前に配布する資料を予め確認し、不明な点を明確にしておく。	約120分	
事後学修	授業内容に関する復習課題に取り組み、manabaフォリオを通じて提出する。	約120分	
4. 言語と文化(西井麻美<特別講義を組み入れる(大西洋)>)			
事前学修	言語が文化に及ぼす影響について、事例を調べておく。	約120分	
事後学修	授業スライドを復習した上で、宗教に関する言語と文化の関係を考察する。	約120分	
5. ディスカッション: 言語と文化(西井麻美<特別講義を組み入れる(大西洋)>)			
事前学修	前回の内容を踏まえ、キリスト教の考え方と伝え方の関係を考察する。	約120分	
事後学修	ディスカッションの内容を踏まえ、言語と文化の関係について具体例に即して言語化する。	約120分	

6. ESDのホリスティック性・暗黙知・心性（西井麻美）		
事前学修	授業テーマに関する資料に当たる。	約120分
事後学修	授業のまとめを行い、ポートフォリオを作成する。	約120分
7. 日系ブラジル人の移動と多文化共生（西井麻美＜特別講義を組み入れる（長村裕佳子）＞）		
事前学修	日本における在留外国人の人数や出身国、居住地域について事前に調べておく。	約120分
事後学修	授業内容を振り返りながら日本の多文化共生に関して考えたこと、自分にできることについてまとめておく。	約120分
8. ブラジルにおける日系人のコミュニティ活動と文化継承（西井麻美＜特別講義を組み入れる（長村裕佳子）＞）		
事前学修	海外での日本文化継承活動の例について、事前に調べてみる。	約120分
事後学修	ブラジルの邦字新聞『ブラジル日報』（オンライン版）で関心のある日系社会の記事を読み、授業内容への理解を深める。	約120分
9. 発表の準備（1）うちあわせ（西井麻美）		
事前学修	発表に向けて計画を立てる。	約120分
事後学修	授業のまとめを行い、発表の準備を進める。	約120分
10. 発表の準備（2）スライド・資料づくり（西井麻美）		
事前学修	発表の計画にそった準備状況を確認する。	約120分
事後学修	授業のまとめを行い、スライドを完成させる。	約120分
11. 発表（1～5）（西井麻美）		
事前学修	発表の予行を行う。	120分
事後学修	授業のまとめを行う。	約120分
12. 発表（6～10）（西井麻美）		
事前学修	発表の予行を行う。	約120分
事後学修	授業のまとめを行う。	約120分

13. 発表 (11~15) (西井麻美)		
事前学修	発表の予行を行う。	約120分
事後学修	授業のまとめを行う。	約120分
14. 発表 (16~20) (西井麻美)		
事前学修	発表の予行を行う。	約120分
事後学修	授業のまとめを行う。	約120分
15. まとめ (西井麻美)		
事前学修	これまでの授業を振り返る。	約120分
事後学修	授業のまとめを行い、課題等を作成する。	約120分
試験等		
レポート		
試験のフィードバックの方法		
マナバのスレッドで質問を受け付ける。		
必携書 (教科書販売)		
書籍名 / 著者 / 発売元出版社 / 価格 / ISBN / 媒体種別・備考		
必携書・参考書 (教科書販売以外)		
書籍名 / 著者 / 発売元出版社 / 価格 / ISBN / 媒体種別・備考		
聖書		
その他、授業時に説明またはレジュメにおいて示す。		
オフィスアワー		
授業終了時に質問等受け付ける。 マナバにスレッド「キリスト教学Ⅴ (西井担当) 質問・連絡のある方用」をたてるので、記入して送信する。		
連絡先		
西井：マナバフォリオにスレッド「キリスト教学Ⅴ (西井担当) 質問・連絡のある方用」をたてる。スレッドがたつまでは、西井研究室 (東棟3F) ドアボックスにメモ (A4サイズ、学籍番号・氏名、返信用メールアドレスを記載) を入れておくこと。		
留意事項		
<ul style="list-style-type: none"> ・受講者を上限20人とする (教務への登録順)。 ・マナバフォリオを利用するので、各自必ずリマインダ登録しておくこと。 		

キリスト教VI		単位数	2単位
授業コード	10185	科目ナンバリング	100B1-1234-o2
開講年度学期	2025年度第2期		
担当者氏名	西井 麻美、小林 謙一、小橋 雅彦、杉山 博昭、成清 仁士、中井 俊雄、濱崎 絵梨		
時間割備考			
授業形態(主)	1 講義		
授業形態(副)	2 演習		
担当形態	オムニバス		
研究分野(大学院)			
本授業の概要			
<p>本授業のテーマは、「国際社会に目を向けて、これからの持続可能な社会づくり・人づくりをキリスト教ヒューマニズムなどのキリスト教的視点に依拠しながら考察する」ことである。</p> <p>キリスト教は、ヨーロッパをはじめ世界の文化や社会にどのような影響を及ぼしたり、関わってきたのでしょうか。また、現代社会において、キリスト教ヒューマニズムなどのキリスト教的視点は、どのような意味を持つのでしょうか。キリスト教的ものの見方にふれながら、これからの持続可能な社会において、「より良く生きる」ことについて、考えていく。講義に加え、グループディスカッションや発表を取り入れる。</p>			
アクティブラーニングの実施内容	グループ・ディスカッション		
到達目標			対応するディプロマポリシー (1 知識・技能/2 思考・判断・表現力/3 主体性)
1	キリスト教がヨーロッパをはじめ世界の文化や社会におぼした影響について説明できる。	知識・技能/思考・判断・表現力/主体性	
2	現代社会において、キリスト教的視点が持ちうる意味について多角的な視点から説明できる。	知識・技能/思考・判断・表現力/主体性	
3	持続可能な社会において「より良く生きる」ことについて、自分の意見を述べるができる。	知識・技能/思考・判断・表現力/主体性	
4			
5			
成績評価の基準			対応する到達目標の番号
1	平常点 (ディスカッションへの参加・課題) 60%	1/2/3	
2	課題レポート 40%	1/2/3	
3			
4			
5			
実務経験のある教員による授業科目	実務あり		
実務経験の授業への活用方法			
6. 支え合う地域福祉(中井俊雄)では、地域福祉の現場(市町村社会福祉協議会)において、27年間ソーシャルワーカーとして実践した経験を基に、実戦力のある教育を行い理解を促す。			
日本語以外の言語による授業			
授業予定一覧		事前・事後学修内容と時間	
1. オリエンテーション(西井麻美)			
事前学修	シラバスを事前にチェックし、関連する資料を検索する。	約120分	
事後学修	オリエンテーションの内容を整理し、ディスカッションに備える。	約120分	
2. キリスト教と科学 ―キリスト教的価値観と近代科学の関係について考える(小林謙一)			
事前学修	予め配布する講義資料を確認し、不明な点を明らかにしておく。	約120分	
事後学修	講義内容に関する復習課題に取り組み、manabaフォリオを通じて提出する。	約120分	
3. フランス社会の根底に流れるカトリックの心 ―実際に暮らしてみても、分かったこと(西井麻美<特別講義を組み入れる(上林篤幸)>)			
事前学修	フランスの歴史とキリスト教のかかわりについて文献・ウェブ資料等で概要を把握する。	約120分	
事後学修	学修した内容を振り返り、感想や自分の考えを整理しまとめる。	約120分	
4. 英語教育における異文化理解とは(小橋雅彦)			
事前学修	これまで受けた英語の授業の中で異文化理解に関する内容について、題材や授業内容を整理しておく。	約120分	
事後学修	講義で学修した内容やグループワークなどで得た他者の考えを整理し、自分の考えを再構築する。	約120分	
5. 福祉とキリスト教(杉山博昭)			
事前学修	社会福祉による支援を必要とする課題にどのようなものがあるか、関連文献によって把握する。	120分	
事後学修	社会福祉にかかわる課題についてどのような対応が必要か、キリスト教の価値観も含めて自分の見解をまとめる。	120分	

6. 支え合う地域福祉（中井俊雄）		
事前学修	「支える側」と「支えられる側」が相互の垣根を越えて、「支え合う」社会とはどういった社会なのか考え整理しておく。	約120分
事後学修	学修した内容を振り返り、自分の考えや感想を整理しまとめる。	約120分
7. 支援とは何か ー自分らしさの実現に向けてー（濱崎絵梨）		
事前学修	「支援」「自分らしさ」の用語について書籍やインターネット等で調べて整理する。	約120分
事後学修	自分らしさを実現するための支援のあり方について考えたことをまとめる。	約120分
8. 持続可能なまちづくり（成清仁士）		
事前学修	「持続可能なまちづくり」に関してこれまでに自らが学んできた内容・問題意識を持ってきた内容を振り返り、整理しておく。適宜、新聞やWEB、参考文献に目を通しておく。	約120分
事後学修	講義の内容を振り返り、自分なりの意見をまとめる。	約120分
9. 『ESDがグローバル社会の未来を拓く SDGsの実現をめざして』を読み話し合う①ESDの教育的価値観（西井麻美）		
事前学修	テーマに関連する事柄を必携書で確認し、関連する資料に当たる。	約120分
事後学修	授業のまとめを行い、各自のポートフォリオを作成する。課題が出される場合、それに取り組む。	約120分
10. 『ESDがグローバル社会の未来を拓く SDGsの実現をめざして』を読み話し合う②病気と健康人生（西井麻美）		
事前学修	テーマに関連する事柄を、必携書で確認し、関連する資料に当たる。	約120分
事後学修	授業のまとめを行い、各自のポートフォリオを作成する。課題が出される場合、それに取り組む。	約120分
11. 『ESDがグローバル社会の未来を拓く SDGsの実現をめざして』を読み話し合う③SDGsを創造するランドスケープ（西井麻美）		
事前学修	テーマに関連する事柄を必携書で確認し、関連する資料に当たる。	約120分
事後学修	授業のまとめを行い、各自のポートフォリオを作成する。課題が出される場合、それに取り組む。	約120分
12. 発表の準備：スライドづくり（西井麻美）		
事前学修	発表について構想・計画を立てる。	約120分
事後学修	発表のスライドを完成させる。	約120分

13. 発表の準備：レジュメづくり（西井麻美）		
事前学修	発表でのレジュメの準備をおこなう。	約120分
事後学修	発表でのレジュメを完成させる。	約120分
14. 発表（前半）（西井麻美）		
事前学修	これまでの授業を振り返り、発表に備える。	約120分
事後学修	授業を振り返り、ポートフォリオにまとめる。	約120分
15. 発表（後半）（西井麻美）		
事前学修	これまでの授業を振り返り、発表に備える。	約120分
事後学修	授業のまとめを行い、ポートフォリオを作成する。	約120分
試験等		
レポート		
試験のフィードバックの方法		
解説（資料、マナバフォリオ）する。		
必携書（教科書販売）		
書籍名／著者／発売元出版社／価格／ISBN／媒体種別・備考		
西井麻美・池田満之・治部眞里・白砂伸夫編著『ESDがグローバル社会の未来を拓く SDGsの実現をめざして』ミネルヴァ書房、2020年		
必携書・参考書（教科書販売以外）		
書籍名／著者／発売元出版社／価格／ISBN／媒体種別・備考		
聖書		
その他、必要に応じて指示する。		
オフィスアワー		
オフィスアワーは授業中に指示する。		
連絡先		
・西井：マナバフォリオにスレッド「キリスト教学Ⅵ（西井担当用）質問・連絡のある方用」をたてる。スレッドがたつまでは、西井研究室（ND東棟3F）ドアのボックスメモ（A4サイズ、学籍番号・氏名、返信用メールアドレスを記載）を入れておくこと。		
留意事項		
・履修者数は上限を20名とする。（教務への登録順） ・マナバフォリオを用いる。		

キリスト教VIIII			単位数	2単位	
授業コード	10215	科目ナンバリング	100B1-1234-o2	開講年度学期	2025年度第2期
担当者氏名	岡田 紅理子				
時間割備考					
授業形態(主)	1 講義				
授業形態(副)	2 演習				
担当形態	単独				
研究分野(大学院)					
本授業の概要					
<p>キリスト教の成立と発展の中核にあるのは、イエスという人物を「神の子キリスト(救い主)」とする信仰である。その結果、イエスの死後成立したキリスト教会の内外では、イエスのみならず教会内部での実践を過度に神聖視し、その結果、イエスとその教えが果てしなく遠く、一切の疑念を持ってはいけないかのような認識に陥る傾向がある。</p> <p>本科目では、イエスという人物を「ナザレに生きた一人の男」として位置づけなおす一方で、その稀有な生き方と使命感に着目する。本科目のねらいは、現代の文脈にあわせて聖書を読み直し、イエスの言動を通じて、(キリスト者であるか否かに関わらず)人間とはどのような存在なのか、また人間は何を問われているのかについて考察していくことにある。</p>					
アクティブラーニングの実施内容	グループ・ディスカッション				
到達目標				対応するディプロマポリシー (1 知識・技能/2 思考・判断・表現力/3 主体性)	
1	聖書に記された事柄を字面通りに読み、理解しようとするのではなく、それが伝えようとするメッセージを考察できる			思考・判断・表現力/主体性	
2	聖書に記された出来事の史実性/非科学性を問うのではなく、それが伝えようとするメッセージを考察できる			思考・判断・表現力/主体性	
3	イエスの言動を踏まえ、(過度に神聖化した遠く離れた存在ではない)「自分にとってのイエス」像を論理的かつ具体的に説明できる			知識・技能/思考・判断・表現力/主体性	
4	イエスのことばと実践が、現代を生きる自分に何を問いかけているのかを考察できる			知識・技能/思考・判断・表現力/主体性	
5					
成績評価の基準				対応する到達目標の番号	
1	授業への取り組み態度(ディスカッション含む) 20%			1/2	
2	リアクションペーパー 30%			1/2/3/4	
3	レポート 50%			1/2/3/4	
4					
5					
実務経験のある教員による授業科目					
実務経験の授業への活用方法					
日本語以外の言語による授業					
授業予定一覧					
事前・事後学修内容と時間					
1. イン트로ダクション					
事前学修	履修する理由、意義を考え、まとめる			1時間	
事後学修	イントロダクションを踏まえて考えた(考え直した)履修する理由、意義をまとめる			1時間	
2. 聖書という書物					
事前学修	聖書がいかなる書物なのかについて、書籍を探して調べ、まとめる			2時間	
事後学修	講義内容を整理し、まとめる。また、講義内容を意識しながら講読した聖書箇所を再読する			2時間	
3. 古代ユダヤ世界					
事前学修	イエスが生まれた時代に人々がいかなる状況に置かれていたのかについて、書籍を探して調べ、まとめる			2時間	
事後学修	講義内容を整理し、まとめる。また、講義内容を意識しながら講読した聖書箇所を再読する			2時間	
4. キリスト待望論とイエスの誕生					
事前学修	イエスがいかなる存在として人々に迎え入れられたのかについて、その誕生と幼年期に関して書籍を探して調べ、まとめる			2時間	
事後学修	講義内容を整理し、まとめる。また、講義内容を意識しながら講読した聖書箇所を再読する			2時間	
5. イエスの召命					
事前学修	イエスがどのような使命感と意識を抱いて活動をはじめたのかについて、書籍を探して調べ、まとめる			2時間	
事後学修	講義内容を整理し、まとめる。また、講義内容を意識しながら講読した聖書箇所を再読する			2時間	

6. 公生活の開始		
事前学修	イエスが活動をはじめた社会的・宗教的背景と弟子となる人々との出会いについて、書籍を探して調べ、まとめる	2時間
事後学修	講義内容を整理し、まとめる。また、講義内容を意識しながら講読した聖書箇所を再読する	2時間
7. 「罪人」との出会いと連帯		
事前学修	聖書に描かれた「罪人」とはどのような人々であり、なぜそのようにカテゴライズされたのかについて書籍を探して調べ、まとめる	2時間
事後学修	講義内容を整理し、まとめる。また、講義内容を意識しながら講読した聖書箇所を再読する	2時間
8. 奇跡といやし		
事前学修	聖書が伝える奇跡物語はいかなる類型をもっているのか、また奇跡物語がイエスの活動に果たした役割について書籍を探して調べ、まとめる	2時間
事後学修	講義内容を整理し、まとめる。また、講義内容を意識しながら講読した聖書箇所を再読する	2時間
9. 神と人間		
事前学修	イエスが示した神とはいかなる存在で、神と人間はいかなる関係にあるのかについて、書籍を探して調べ、まとめる	2時間
事後学修	講義内容を整理し、まとめる。また、講義内容を意識しながら講読した聖書箇所を再読する	2時間
10. 律法学者たちへの挑戦		
事前学修	イエスが律法学者たちといかに、またなぜ対峙したのかについて、書籍を探して調べ、まとめる	2時間
事後学修	講義内容を整理し、まとめる。また、講義内容を意識しながら講読した聖書箇所を再読する	2時間
11. 隣人愛とは：愛、ゆるし、交わり		
事前学修	イエスの言動を踏まえて「隣人愛」とはどのような教えなのかについて書籍を探して調べ、他者に「優しくする」「親切にする」といった言説を批判的に考察し、まとめる	2時間
事後学修	講義内容を整理し、まとめる。また、講義内容を意識しながら講読した聖書箇所を再読する	2時間
12. イエスに訪れた危機		
事前学修	イエスになぜ危機が訪れたのかについて、書籍を探して調べ、まとめる	2時間
事後学修	講義内容を整理し、まとめる。また、講義内容を意識しながら講読した聖書箇所を再読する	2時間

13. 受難と死		
事前学修	イエスがいかに自らの死と向き合っていたのかについて、書籍を探して調べ、まとめる	2時間
事後学修	講義内容を整理し、まとめる。また、講義内容を意識しながら講読した聖書箇所を再読する	2時間
14. それぞれのイエス理解（ディスカッション）		
事前学修	イエスとはどのような人物なのかについて、これまでの講義内容を確認、整理するとともに、課題図書①を読み、考察をまとめる	3時間
事後学修	ディスカッション内容を整理し、考察をまとめる。また、ディスカッション内容を意識しながら課題図書①を再読する	2時間
15. 聖書を読み直し、イエスを再発見する（ディスカッション）		
事前学修	現代の日本を生きる私たちに、イエスが何を問い、訴えているのかについて、これまでの講義内容を確認、整理する。また、課題図書②を読み、考察をまとめる	3時間
事後学修	ディスカッション内容を整理し、考察をまとめる。また、ディスカッション内容を意識しながら課題図書②を再読する	2時間
試験等		
レポート		
試験のフィードバックの方法		
メールでの質問を受け付ける。		
必携書（教科書販売）		
書籍名／著者／発売元出版社／価格／ISBN／媒体種別・備考		
必携書・参考書（教科書販売以外）		
書籍名／著者／発売元出版社／価格／ISBN／媒体種別・備考		
中型聖書 横組 N I 3 4 D C H / / 日本聖書協会 / 3100 / 9784820212027 / 冊子版		
<課題図書>		
①田川建三『イエスという男 第二版（増補改訂版）』2021 ISBN 978-4-87893-681-4		
②本田哲郎『聖書を発見する』岩波書店、2010（2016） ISBN 978-4-00-730440-8		
<参考書>		
・佐藤望ほか『アカデミックスキルズ 大学生のための知的技法入門（第3版）』慶應義塾大学出版会、2020 ISBN 978-4-7664-2656-4		
*その他は授業時またレジュメにおいて示す。		
オフィスアワー		
火曜3限あるいはアポイントメント		
連絡先		
okada@m.ndsu.ac.jp		
留意事項		
<ul style="list-style-type: none"> ・manaba folioを利用するので、各自必ずリマインダ登録しておくこと。 ・履修者数や履修者の理解度に応じて、授業形式やスケジュールに変更が生じる可能性がある。 <p>* 本科目は2022年度2期「キリスト教学X」あるいは2023年度以降開講「キリスト教学II」と内容が重なる。そのため、同科目の単位を取得した学生は他の「キリスト教学」科目の履修を優先すること。仮に本科目の履修・聴講を希望する場合は、履修登録を完了させるよりも前に、必ずメールにて相談すること。</p>		

キリスト教IX		【単位数】	2単位
授業コード	10225	科目ナンバリング	100B1-1234-o2
開講年度学期	2025年度第2期		
担当者氏名	崎川 修		
時間割備考			
授業形態(主)	1 講義		
授業形態(副)			
担当形態	単独		
研究分野(大学院)			
本授業の概要			
<p>「福音書に学ぶ〈対話としての信仰〉」 キリスト教の根本的な教えである「隣人愛」の本質を見つめながら、いかにして自己の人生を「他者との対話」の内に深め、歩むことが出来るかを考える。福音書におけるイエスの生き方を基本にしつつ、日常的、臨床的な視点との往復を通じて、信仰や祈りの中に生きることのリアリティに触れてほしい。</p>			
アクティブラーニングの実施内容			
到達目標		対応するディプロマポリシー (1 知識・技能/2 思考・判断・表現力/3 主体性)	
1	1. キリスト教と聖書についての基礎的な知識を身につける。	知識・技能	
2	2. 新約聖書、とくに福音書の読解を通じて、そこで示されている「愛」や「いのち」についてのメッセージを理解し、それに基づいた倫理的な判断を行うことができる。	知識・技能/思考・判断・表現力/主体性	
3	3. キリスト教的な生き方の本質を、自分自身の人生の問題に照らして考察し論じることができる。	知識・技能/思考・判断・表現力/主体性	
4			
5			
成績評価の基準		対応する到達目標の番号	
1	受講態度、リアクションペーパー:50%	1/2	
2	期末レポート:50%	1/2/3	
3			
4			
5			
実務経験のある教員による授業科目			
実務経験の授業への活用方法			
日本語以外の言語による授業			
授業予定一覧		事前・事後学修内容と時間	
1. 導入：隣人とは誰のことか			
事前学修	シラバスから講義の概要や進め方を把握し、目的意識を整理しておく。	2時間	
事後学修	ノートを整理し、授業のリアクションを作成する。また授業で扱った聖書箇所を前後を含め丁寧に読み直し、関連する図書やweb資料などを用いて理解を深める。	2時間	
2. 「よきサマリア人のたとえ」を読む			
事前学修	講義予定に従って、該当する聖書の箇所や配布資料等に目を通し、論点を整理しておく。	2時間	
事後学修	ノートを整理し、授業のリアクションを作成する。また授業で扱った聖書箇所を前後を含め丁寧に読み直し、関連する図書やweb資料などを用いて理解を深める。	2時間	
3. イエスとその時代			
事前学修	講義予定に従って、該当する聖書の箇所や配布資料等に目を通し、論点を整理しておく。	2時間	
事後学修	ノートを整理し、授業のリアクションを作成する。また授業で扱った聖書箇所を前後を含め丁寧に読み直し、関連する図書やweb資料などを用いて理解を深める。	2時間	
4. 福音書のイエス像			
事前学修	講義予定に従って、該当する聖書の箇所や配布資料等に目を通し、論点を整理しておく。	2時間	
事後学修	ノートを整理し、授業のリアクションを作成する。また授業で扱った聖書箇所を前後を含め丁寧に読み直し、関連する図書やweb資料などを用いて理解を深める。	2時間	
5. 「サマリアの女」を読む			
事前学修	講義予定に従って、該当する聖書の箇所や配布資料等に目を通し、論点を整理しておく。	2時間	
事後学修	ノートを整理し、授業のリアクションを作成する。また授業で扱った聖書箇所を前後を含め丁寧に読み直し、関連する図書やweb資料などを用いて理解を深める。	2時間	

6. イエスと対話的霊性		
事前学修	講義予定に従って、該当する聖書の箇所や配布資料等に目を通し、論点を整理しておく。	2時間
事後学修	ノートを整理し、授業のリアクションを作成する。また授業で扱った聖書箇所を前後を含め丁寧に読み直し、関連する図書やweb資料などを用いて理解を深める。	2時間
7. イエスにおける「死の準備」		
事前学修	講義予定に従って、該当する聖書の箇所や配布資料等に目を通し、論点を整理しておく。	2時間
事後学修	ノートを整理し、授業のリアクションを作成する。また授業で扱った聖書箇所を前後を含め丁寧に読み直し、関連する図書やweb資料などを用いて理解を深める。	2時間
8. 「ラザロの死」を読む		
事前学修	講義予定に従って、該当する聖書の箇所や配布資料等に目を通し、論点を整理しておく。	2時間
事後学修	ノートを整理し、授業のリアクションを作成する。また授業で扱った聖書箇所を前後を含め丁寧に読み直し、関連する図書やweb資料などを用いて理解を深める。	2時間
9. 復活とは何か		
事前学修	講義予定に従って、該当する聖書の箇所や配布資料等に目を通し、論点を整理しておく。	2時間
事後学修	ノートを整理し、授業のリアクションを作成する。また授業で扱った聖書箇所を前後を含め丁寧に読み直し、関連する図書やweb資料などを用いて理解を深める。	2時間
10. 聖性と神秘		
事前学修	講義予定に従って、該当する聖書の箇所や配布資料等に目を通し、論点を整理しておく。	2時間
事後学修	ノートを整理し、授業のリアクションを作成する。また授業で扱った聖書箇所を前後を含め丁寧に読み直し、関連する図書やweb資料などを用いて理解を深める。	2時間
11. 回心という経験		
事前学修	講義予定に従って、該当する聖書の箇所や配布資料等に目を通し、論点を整理しておく。	2時間
事後学修	ノートを整理し、授業のリアクションを作成する。また授業で扱った聖書箇所を前後を含め丁寧に読み直し、関連する図書やweb資料などを用いて理解を深める。	2時間
12. 神との対話		
事前学修	講義予定に従って、該当する聖書の箇所や配布資料等に目を通し、論点を整理しておく。	2時間
事後学修	ノートを整理し、授業のリアクションを作成する。また授業で扱った聖書箇所を前後を含め丁寧に読み直し、関連する図書やweb資料などを用いて理解を深める。	2時間

13. クリスマスのメッセージ		
事前学修	講義予定に従って、該当する聖書の箇所や配布資料等に目を通し、論点を整理しておく。	2時間
事後学修	ノートを整理し、授業のリアクションを作成する。また授業で扱った聖書箇所を前後を含め丁寧に読み直し、関連する図書やweb資料などを用いて理解を深める。	2時間
14. 祈りの方法論		
事前学修	講義予定に従って、該当する聖書の箇所や配布資料等に目を通し、論点を整理しておく。	2時間
事後学修	ノートを整理し、授業のリアクションを作成する。また授業で扱った聖書箇所を前後を含め丁寧に読み直し、関連する図書やweb資料などを用いて理解を深める。	2時間
15. まとめ		
事前学修	講義予定に従って、該当する聖書の箇所や配布資料等に目を通し、論点を整理しておく。	2時間
事後学修	ノートを整理し、授業のリアクションを作成する。また授業で扱った聖書箇所を前後を含め丁寧に読み直し、関連する図書やweb資料などを用いて理解を深める。	2時間
試験等		
期末レポートを提出してもらう。内容については授業内で指示する。		
試験のフィードバックの方法		
必携書（教科書販売）		
書籍名／著者／発売元出版社／価格／ISBN／媒体種別・備考		
必携書・参考書（教科書販売以外）		
書籍名／著者／発売元出版社／価格／ISBN／媒体種別・備考		
<p><必携書> 『聖書 新共同訳』, 日本聖書協会 『新・私たちの人間論』, ノートルダム清心女子大学キリスト教文化研究所編, 大学教育出版, 2022年 (2021年次以前入学生には、授業内で販売するので申し出ること。)</p> <p><参考書等> 授業内で随時紹介する。 その他プリントを随時配布する。</p>		
オフィスアワー		
授業内で指示する。質問・相談は随時メールで受け付ける。		
連絡先		
sakikawa@m.ndsu.ac.jp		
留意事項		
<ul style="list-style-type: none"> ・受講者には毎回manabaのレポートフォームから、リアクションの提出が課される。リアクションの未提出が5回を超える場合には、「不可」となる場合がある。 ・レポートにおいてネットや文献からの無断流用が認められた場合は、「不可」となるので注意すること。 		

キリスト教学X		【単位数】	2単位
授業コード	10235	科目ナンバリング	100B1-2340-o2
開講年度学期	2025年度第2期		
担当者氏名	岡田 紅理子		
時間割備考			
授業形態(主)	1 講義		
授業形態(副)	2 演習		
担当形態	単独		
研究分野(大学院)			
本授業の概要			
キリスト教は社会のなかで生きてきた。しかし、その道のりは一定ではなかった。国家権力と緊密な関係を保っていた時代から、植民地・帝国主義時代や世界大戦をへた変革の時代のなかで、キリスト教が省察してきた人類社会に対する自らの態度、使命はいかなるもので、キリスト教は人類社会になにを訴えてきたのだろうか。本科目では、教皇の公文書である回勅、書簡、勸告のほか、公会議の憲章をはじめとするカトリック教会の諸文書を通じてキリスト教の価値観を学びながら、現代社会の社会、環境、生命をめぐる倫理的諸問題を考えていく。			
アクティブラーニングの実施内容	発見学習		
到達目標			対応するディプロマポリシー (1 知識・技能/2 思考・判断・表現力/3 主体性)
1	キリスト教倫理を「きれいごと」と切り捨てることなく、それが現代社会に果たしうる役割を検討できる	思考・判断・表現力/主体性	
2	「正解」や「答え」を追求するのではなく、人間のありようを多角的に捉え、社会に存ずる問題との向き合い方を考察できる	思考・判断・表現力/主体性	
3	社会、環境、生命に対するキリスト教の倫理的価値観を論理的かつ具体的に説明できる	知識・技能/思考・判断・表現力/主体性	
4			
5			
成績評価の基準			対応する到達目標の番号
1	授業への取り組み態度 20%	1/2	
2	リアクションペーパー 40%	1/2/3	
3	レポート 40%	1/2/3	
4			
5			
実務経験のある教員による授業科目			
実務経験の授業への活用方法			
日本語以外の言語による授業			
授業予定一覧		事前・事後学修内容と時間	
1. イン트로ダクション			
事前学修	履修する理由、意義を考え、まとめる	1時間	
事後学修	イントロダクションを踏まえて考えた(考え直した)履修する理由、意義をまとめる	1時間	
2. キリスト教が示す倫理			
事前学修	倫理と道徳の違い、またキリスト教倫理とはどのようなものなのかについて書籍を調べ、まとめる	2時間	
事後学修	講義内容を確認、整理する。また、講義・レジュメで参照した聖書や公文書、紹介された書籍を読み、考察をまとめる	2時間	
3. 社会①教育と労働			
事前学修	教育と労働に関する書籍を探して調べ、その課題をまとめる	2時間	
事後学修	講義内容を確認、整理する。また、講義・レジュメで参照した聖書や公文書、紹介された書籍を読み、考察をまとめる	2時間	
4. 社会②開発と格差、貧困			
事前学修	開発と格差、貧困に関する書籍を探して調べ、その課題をまとめる	2時間	
事後学修	講義内容を確認、整理する。また、講義・レジュメで参照した聖書や公文書、紹介された書籍を読み、考察をまとめる	2時間	
5. 社会③戦争、暴力と平和			
事前学修	戦争と暴力の関連性また平和に関する書籍を探して調べ、その課題をまとめる	2時間	
事後学修	講義内容を確認、整理する。また、講義・レジュメで参照した聖書や公文書、紹介された書籍を読み、考察をまとめる	2時間	

6. 社会④差別と基本的人権		
事前学修	差別と基本的人権に関する書籍を探して調べ、その課題をまとめる	2時間
事後学修	講義内容を確認、整理する。また、講義・レジュメで参照した聖書や公文書、紹介された書籍を読み、考察をまとめる	2時間
7. 社会⑤他宗教との対話		
事前学修	他宗教間の関わりについて、書籍を探して調べ、その動向と課題をまとめる	2時間
事後学修	講義内容を確認、整理する。また、講義・レジュメで参照した聖書や公文書、紹介された書籍を読み、考察をまとめる	2時間
8. 環境①自然と生きる人間		
事前学修	自然環境と人間との関係に関する書籍を探して調べ、その課題をまとめる	2時間
事後学修	講義内容を確認、整理する。また、講義・レジュメで参照した聖書や公文書、紹介された書籍を読み、考察をまとめる	2時間
9. 環境②自然と科学技術		
事前学修	自然破壊と科学技術の関係に関する書籍を探して調べ、その課題をまとめる	2時間
事後学修	講義内容を確認、整理する。また、講義・レジュメで参照した聖書や公文書、紹介された書籍を読み、考察をまとめる	2時間
10. 生命①家庭と生殖		
事前学修	家庭また生殖をめぐるに昨今の議論に関する書籍を探して調べ、その課題をまとめる	2時間
事後学修	講義内容を確認、整理する。また、講義・レジュメで参照した聖書や公文書、紹介された書籍を読み、考察をまとめる	2時間
11. 生命②医療技術と人間の尊厳		
事前学修	延命治療と人間の尊厳の関係に関する書籍を探して調べ、その課題をまとめる	2時間
事後学修	講義内容を確認、整理する。また、講義・レジュメで参照した聖書や公文書、紹介された書籍を読み、考察をまとめる	2時間
12. 生命③自死		
事前学修	自死に関する書籍を探して調べ、その課題をまとめる	2時間
事後学修	講義内容を確認、整理する。また、講義・レジュメで参照した聖書や公文書、紹介された書籍を読み、考察をまとめる	2時間

13. 生命④尊厳死と安楽死		
事前学修	尊厳死と安楽死の違い、またその関係に関する書籍を探して調べ、その課題をまとめる	2時間
事後学修	講義内容を確認、整理する。また、講義・レジュメで参照した聖書や公文書、紹介された書籍を読み、考察をまとめる	2時間
14. 生命⑤死刑制度		
事前学修	冤罪事件と死刑制度に関する書籍を探して調べ、その課題をまとめる	2時間
事後学修	講義内容を確認、整理する。また、講義・レジュメで参照した聖書や公文書、紹介された書籍を読み、考察をまとめる	2時間
15. まとめ		
事前学修	社会、環境、生命に対するキリスト教の倫理的価値観を論理を踏まえ、社会に存する問題との向き合い方を考察し、まとめる	3時間
事後学修	講義内容を確認、整理する。また、講義・レジュメで参照した聖書や公文書、紹介された書籍を読み、社会、環境、生命に対するキリスト教の倫理的価値観から何を学べるのかについて考察し、まとめる	3時間
試験等		
レポート		
試験のフィードバックの方法		
メールでの質問を受け付ける。		
必携書（教科書販売）		
書籍名／著者／発売元出版社／価格／ISBN／媒体種別・備考		
必携書・参考書（教科書販売以外）		
書籍名／著者／発売元出版社／価格／ISBN／媒体種別・備考		
中型聖書 横組 NI34DCH／／日本聖書協会／3100／9784820212027／冊子版		
<p><参考書></p> <ul style="list-style-type: none"> ・教皇フランシスコ『回勅 ラウダート・シ：ともに暮らす家を大切に』カトリック中央協議会、2016 ISBN 978-4-87-750199-0 ・佐藤望ほか『アカデミックスキルズ 大学生のための知的技法入門（第3版）』慶應義塾大学出版会、2020 ISBN 978-4-7664-2656-4 <p>* その他は授業時またレジュメにおいて示す。</p>		
オフィスアワー		
火曜3限あるいはアポイントメント		
連絡先		
okada@m.ndsu.ac.jp		
留意事項		
<ul style="list-style-type: none"> ・manaba folioを利用するので、各自必ずリマインダ登録しておくこと。 ・本科目の履修にあたっては、2023年度以降開講の「キリスト教学II」（ないしは2022年度2期の「キリスト教学X」）の単位をすでに取得していることが望ましい。 ・履修者数や履修者の理解度に応じて、授業形式やスケジュールに変更が生じる可能性がある。 ・自分のこれまでの考えや感覚・感情に固執したり流されたりすることなく、講義で扱われたテーマを突き詰めて考え、学び直す姿勢が求められる。 <p>* 本科目は2022年度1期において「キリスト教学II」として開講された科目である。そのため、同科目の単位を取得した学生は他の「キリスト教学」科目の履修を優先すること。仮に同科目の単位を取得した学生が本科目の履修を希望する場合は、履修登録を完了させるよりも前に、必ずメールにて相談すること。</p>		

キリスト教学XI				【単位数】	2単位
授業コード	10245	科目ナンバリング	100B1-1234-o2	開講年度学期	2025年度第2期
担当者氏名	山根 道公				
時間割備考					
授業形態(主)	1 講義				
授業形態(副)					
担当形態	単独				
研究分野(大学院)					
本授業の概要					
<p>自分が生きている意味と価値とを見出せないで苦しむ現代日本人に、人類の叡智である宗教的智がどのように応えることができるか。遠藤周作と共に日本の文化風土に根づくキリスト教、さらに現代の科学的世界観のなかで生きる日本人に実感できるキリスト教を探究した井上洋治神父の『日本人のためのキリスト教入門』をテキストに、宗教とは、キリスト教とは、神とは、信仰とは、生きるとは、死とは、愛とは、祈りとは…といった宗教的智を、実感をもって受け取れるように学び、それを踏まえて、キリスト教と日本文化の響き合いについて、宗教的平和について、そして自分が生きている意味と価値について考える。さらに、関連する聖書およびキリスト教についての基礎的知識を学ぶ。</p>					
アクティブラーニングの実施内容					
到達目標				対応するディプロマポリシー (1 知識・技能/2 思考・判断・表現力/3 主体性)	
1	宗教とは、キリスト教とは、神とは、信仰とは、生きるとは、死とは、命とは、愛とは、祈りとは…といった問いについて宗教的智の観点から説明できる。			知識・技能/思考・判断・表現力	
2	キリスト教と日本文化の響き合いについて、宗教的平和について、生きている意味と価値について主体的に考えることができる。			思考・判断・表現力/主体性	
3	関連する聖書およびキリスト教についての基礎的知識について説明できる。			知識・技能	
4					
5					
成績評価の基準				対応する到達目標の番号	
1	毎回のリアクションレポート(授業および関連する聖書、キリスト教について意見、質問、感想等を書く)…45%			1/2/3	
2	期末レポート…55%			1/2/3	
3					
4					
5					
実務経験のある教員による授業科目					
実務経験の授業への活用方法					
日本語以外の言語による授業					
授業予定一覧					
1. 導入：生き悩む現代日本人と宗教的智について					
事前学修	シラバスおよび授業のテキストの編者の序を事前に読んで、主体的な問題意識をもち、疑問点などの確認を行う。				2時間
事後学修	授業を振り返り、自分の意見、質問、感想等をまとめてリアクションレポートとしてマナバで提出する。期末レポートでは、授業で取り上げた重要なテーマをまとめる課題を出すので、授業の復習をしておく。				2時間
2. 序章：宗教固有の世界					
事前学修	前回の授業で指示されたテキストを事前に読んで、主体的な問題意識をもち、疑問点などの確認を行う。				2時間
事後学修	授業を振り返り、自分の意見、質問、感想等をまとめてリアクションレポートとしてマナバで提出する。期末レポートでは、授業で取り上げた重要なテーマをまとめる課題を出すので、授業の復習をしておく。				2時間
3. 1章：「無」としての神					
事前学修	前回の授業で指示されたテキストを事前に読んで、主体的な問題意識をもち、疑問点などの確認を行う。				2時間
事後学修	授業を振り返り、自分の意見、質問、感想等をまとめてリアクションレポートとしてマナバで提出する。期末レポートでは、授業で取り上げた重要なテーマをまとめる課題を出すので、授業の復習をしておく。				2時間
4. 2章：絶えざる創造					
事前学修	前回の授業で指示されたテキストを事前に読んで、主体的な問題意識をもち、疑問点などの確認を行う。				2時間
事後学修	授業を振り返り、自分の意見、質問、感想等をまとめてリアクションレポートとしてマナバで提出する。期末レポートでは、授業で取り上げた重要なテーマをまとめる課題を出すので、授業の復習をしておく。				2時間
5. 三位一体論とイエスの神アッパ					
事前学修	前回の授業で指示されたテキストを事前に読んで、主体的な問題意識をもち、疑問点などの確認を行う。				2時間
事後学修	授業を振り返り、自分の意見、質問、感想等をまとめてリアクションレポートとしてマナバで提出する。期末レポートでは、授業で取り上げた重要なテーマをまとめる課題を出すので、授業の復習をしておく。				2時間

6. 日本におけるイエスの顔		
事前学修	前回の授業で指示されたテキストを事前に読んで、主体的な問題意識をもち、疑問点などの確認を行う。	2時間
事後学修	授業を振り返り、自分の意見、質問、感想等をまとめてリアクションレポートとしてマナバで提出する。期末レポートでは、授業で取り上げた重要なテーマをまとめる課題を出すので、授業の復習をしておく。	2時間
7. キリスト教と文化		
事前学修	前回の授業で指示されたテキストを事前に読んで、主体的な問題意識をもち、疑問点などの確認を行う。	2時間
事後学修	授業を振り返り、自分の意見、質問、感想等をまとめてリアクションレポートとしてマナバで提出する。期末レポートでは、授業で取り上げた重要なテーマをまとめる課題を出すので、授業の復習をしておく。	2時間
8. キリスト教と文化ークリスマス		
事前学修	前回の授業で指示されたテキストを事前に読んで、主体的な問題意識をもち、疑問点などの確認を行う。	2時間
事後学修	授業を振り返り、自分の意見、質問、感想等をまとめてリアクションレポートとしてマナバで提出する。期末レポートでは、授業で取り上げた重要なテーマをまとめる課題を出すので、授業の復習をしておく。	2時間
9. 救いの出来事としての復活		
事前学修	前回の授業で指示されたテキストを事前に読んで、主体的な問題意識をもち、疑問点などの確認を行う。	2時間
事後学修	授業を振り返り、自分の意見、質問、感想等をまとめてリアクションレポートとしてマナバで提出する。期末レポートでは、授業で取り上げた重要なテーマをまとめる課題を出すので、授業の復習をしておく。	2時間
10. 日本文化の底を流れるもの		
事前学修	前回の授業で指示されたテキストを事前に読んで、主体的な問題意識をもち、疑問点などの確認を行う。	2時間
事後学修	授業を振り返り、自分の意見、質問、感想等をまとめてリアクションレポートとしてマナバで提出する。期末レポートでは、授業で取り上げた重要なテーマをまとめる課題を出すので、授業の復習をしておく。	2時間
11. 日本文化の底を流れるものとキリストのからだ		
事前学修	前回の授業で指示されたテキストを事前に読んで、主体的な問題意識をもち、疑問点などの確認を行う。	2時間
事後学修	授業を振り返り、自分の意見、質問、感想等をまとめてリアクションレポートとしてマナバで提出する。期末レポートでは、授業で取り上げた重要なテーマをまとめる課題を出すので、授業の復習をしておく。	2時間
12. 信仰とは何か		
事前学修	前回の授業で指示されたテキストを事前に読んで、主体的な問題意識をもち、疑問点などの確認を行う。	2時間
事後学修	授業を振り返り、自分の意見、質問、感想等をまとめてリアクションレポートとしてマナバで提出する。期末レポートでは、授業で取り上げた重要なテーマをまとめる課題を出すので、授業の復習をしておく。	2時間

13. 神・イエスのアガペーについて		
事前学修	前回の授業で指示されたテキストを事前に読んで、主体的な問題意識をもち、疑問点などの確認を行う。	2時間
事後学修	授業を振り返り、自分の意見、質問、感想等をまとめてリアクションレポートとしてmanaバで提出する。期末レポートでは、授業で取り上げた重要なテーマをまとめる課題を出すので、授業の復習をしておく。	2時間
14. 祈りについて		
事前学修	前回の授業で指示されたテキストを事前に読んで、主体的な問題意識をもち、疑問点などの確認を行う。	2時間
事後学修	授業を振り返り、自分の意見、質問、感想等をまとめてリアクションレポートとしてmanaバで提出する。期末レポートでは、授業で取り上げた重要なテーマをまとめる課題を出すので、授業の復習をしておく。	2時間
15. 教皇フランシスコ「福音の喜び」「ラウダート・シ」との関連・まとめ		
事前学修	前回の授業で指示されたテキストを事前に読んで、主体的な問題意識をもち、疑問点などの確認を行う。	2時間
事後学修	授業を振り返り、自分の意見、質問、感想等をまとめてリアクションレポートとしてmanaバで提出する。期末レポートでは、授業で取り上げた重要なテーマをまとめる課題を出すので、授業の復習をしておく。	2時間
試験等		
期末レポート		
試験のフィードバックの方法		
必要に応じてmanaバで伝える。		
必携書（教科書販売）		
書籍名／著者／発売元出版社／価格／ISBN／媒体種別・備考		
井上洋治著作選集10『日本人のためのキリスト教入門』（日本キリスト教団出版局）		
必携書・参考書（教科書販売以外）		
書籍名／著者／発売元出版社／価格／ISBN／媒体種別・備考		
『聖書』		
オフィスアワー		
オフィスアワーは金曜日12:30-13:00。質問、相談等は授業の後でも、メールでも随時、応じます。		
連絡先		
yamane@m.ndsu.ac.jp		
留意事項		
授業が一方通行にならないようにリアクションレポートに毎回、授業の要点、意見・質問等を書いてもらう。受講者は主体的に授業に臨むこと。		

キリスト教学XII		単位数	2単位
授業コード	10255	科目ナンバリング	100B1-2340-o2
開講年度学期	2025年度第1期		
担当者氏名	杉山 博昭		
時間割備考			
授業形態(主)	1 講義		
授業形態(副)			
担当形態	単独		
研究分野(大学院)			
本授業の概要			
イエスの教えの中心は、愛である。「隣人を愛せよ」が第一の掟である。隣人とは、誰かという律法の専門家の質問に対して、イエスはよきサマリア人のたとえを話された。私にとっての隣人は誰かではなく、隣人になりなさいとの教えであった。そのことを、実際に隣人愛に生きたキリスト者の行動の軌跡をみるなかで理解する。とくに岡山に関係した動きとカトリック福祉の動きを重視する。			
アクティブラーニングの実施内容			
到達目標		対応するディプロマポリシー (1 知識・技能/2 思考・判断・表現力/3 主体性)	
1	社会福祉の理念について、実践の歩みを通じて説明することができる。	知識・技能/思考・判断・表現力	
2	社会福祉の先駆者の功績について説明することができる。	知識・技能/主体性	
3	社会福祉とキリスト教との関係について説明することができる。	知識・技能/思考・判断・表現力	
4	社会福祉実践やボランティア活動への関心を高め、自ら取り組むことができる。	思考・判断・表現力/主体性	
5			
成績評価の基準		対応する到達目標の番号	
1	授業時の課題 30%	1/2/3	
2	レポート 70%	1/2/3/4	
3			
4			
5			
実務経験のある教員による授業科目		実務あり	
実務経験の授業への活用方法			
特別養護老人ホームや障害者作業所で高齢者や障害者の支援に携わった経験から、福祉実践における理念や価値が現場の実践において大切であることを具体的な事例などから説明し、理念と実践を結びつけた社会福祉論を提示していく。			
日本語以外の言語による授業			
授業予定一覧		事前・事後学修内容と時間	
1 社会福祉とキリスト教 聖書のなかの福祉思想			
事前学修	社会福祉とは何か、関係文献を読んで理解をしておく。また、社会福祉とキリスト教との関係についての文献についても読んでおく。	2時間	
事後学修	社会福祉が今日、直面している課題について自分の考えをまとめる。	2時間	
2 明治初期の福祉活動 ド・ロ神父と長崎の女性たち			
事前学修	維新前後の長崎におけるキリスト教の状況を関連文献によって理解しておく。	2時間	
事後学修	ド・ロ神父の活動と岩永マキの実践について、文献を調べて、レポートにまとめる。	2時間	
3 地域福祉の先駆 アリス・アダムスと岡山博愛会			
事前学修	セツルメントとは何かについて調べ、理解する。	2時間	
事後学修	明治期の岡山の福祉をめぐる状況や岡山博愛会の現状などを調べて、まとめる。	2時間	
4 石井十次と岡山孤児院(1) 孤児院の創設と展開			
事前学修	日本の社会福祉の歴史における岡山孤児院の役割について関連文献によって理解する。	2時間	
事後学修	岡山孤児院の創設の経緯と石井十次の思想についてまとめる。	2時間	
5 石井十次と岡山孤児院(2) 石井の思想とその意義			
事前学修	岡山孤児院を維持発展された石井十次の思想について、石井の伝記などを用いて把握する。	2時間	
事後学修	石井十次の思想について、今日の社会福祉思想を照らしてその先駆性について整理し、レポート化する。	2時間	

6 石井十次と岡山孤児院（3） こども家庭福祉に継承するもの		
事前学修	現在のこども家庭福祉における課題、たとえば社会的養護、自立支援などについて把握する。	2時間
事後学修	こども家庭福祉の諸課題の解決において、岡山孤児院の実践とどうつながるか考察し、レポート化する。	2時間
7 岡山出身のキリスト教社会事業家（1）山室軍平		
事前学修	救世軍とは何か、救世軍の発行した資料やホームページを用いて理解する。	2時間
事後学修	山室軍平の思想や実践の特徴について、文献を収集して理解する、	2時間
8 岡山出身のキリスト教社会事業家（2）留岡幸助の生涯		
事前学修	日本における非行問題の特徴や現状について調べ、理解を深める。	2時間
事後学修	留岡幸助の思想や実践の特徴について、文献を収集して理解する、	2時間
9 岡山出身のキリスト教社会事業家（3）留岡幸助と家庭学校		
事前学修	家庭学校の実践の特徴や、現在の非行児童処遇について調べて理解する。	2時間
事後学修	家庭学校の実践がその後の非行児童処遇にどうつながったのか、具体的な実践課題を示してまとめる。	2時間
10 福祉を支える 大原孫三郎		
事前学修	社会福祉の実践において、経営者がどう貢献したのか、渋沢栄一などの事例を調べ理解する。	2時間
事後学修	大原孫三郎がなぜ福祉の支援をしたのか、大原の思想や岡山のキリスト教文化を含めて整理する、	2時間
11 知的障害者とともに 石井亮一・筆子		
事前学修	知的障害者の福祉の現状と課題について、障害者福祉の文献を中心に整理する。	2時間
事後学修	石井亮一・筆子の福祉思想や実践について、またそれが今の障害者福祉にどうつながったのかを把握し、レポート化する。	2時間
12 カトリックによるハンセン病患者への支援 テストウイド神父 岩下壮一 井深八重		
事前学修	ハンセン病の差別や人権侵害について歴史的視点から整理する。	2時間
事後学修	ハンセン病に対して、カトリックの人たちがどのように向き合ったか個々の事例を具体的に取り上げ論じてみる。	2時間

13 地域での福祉実践 賀川豊彦の活動		
事前学修	近代における貧困の広がりや、貧困に対する支援の歩みを把握して整理する。	2時間
事後学修	賀川豊彦の活動が、以後の低所得者支援にどう影響したのか、賀川の活動の資料を収集して福祉実践の視点からまとめる。	2時間
14 視覚障害者の福祉 岩橋武夫 ヘレン・ケラーの来日		
事前学修	日本における視覚障害者ら身体障害者の生活課題を具体的に把握して整理する。	2時間
事後学修	岩橋武夫の実践や活動の意義について、障害者福祉の発展と照らし合わせて把握し、レポート化する。	2時間
15 キリスト教と保育 野口幽香		
事前学修	日本の保育所をめぐる現状や課題について資料を収集して理解する。	2時間
事後学修	野口幽香の保育実践と特徴を整理し、現在の保育実践にどうつながっているのかを考察しまとめてみる。	2時間
試験等		
社会福祉実践者について探求したレポートを提出する。		
試験のフィードバックの方法		
授業終了後も、メール等での質問を受け付ける。		
必携書（教科書販売）		
書籍名／著者／発売元出版社／価格／ISBN／媒体種別・備考		
必携書・参考書（教科書販売以外）		
書籍名／著者／発売元出版社／価格／ISBN／媒体種別・備考		
<必携書> 教科書は使用しない。授業時にプリントを添付する。 <参考書等> 『聖書』（日本聖書協会の新共同訳または聖書協会共同訳が望ましいが、他でも可）		
オフィスアワー		
火曜 2限 質問は随時電子メールで受け付ける。		
連絡先		
sugiyama@m.ndsu.ac.jp		
留意事項		
人間生活学科社会福祉士課程の学生は、受講することが望ましい。もちろん、他の学生の受講も歓迎する。 教室定員を超過した場合は、先着順		

キリスト教XIII		【単位数】	2単位
授業コード	10285	科目ナンバリング	100B1-1234-o2
開講年度学期	2025年度第2期		
担当者氏名	堀江 有里		
時間割備考			
授業形態(主)	1 講義		
授業形態(副)			
担当形態	単独		
研究分野(大学院)			
本授業の概要			
<p>わたしたちの生きる社会には“当たり前”だと無意識に思い込んでいる認識(規範)が多くある。キリスト教もその規範から自由ではないばかりか、むしろ再生産し、人びとの排除や抑圧を生み出してきた側面をもつ。本講義では、ラテンアメリカで生み出された「解放の神学」や、そこから派生したさまざまな神学の歴史や思想を学び、歴史的に差別や暴力などを生み出す側でもありつづけてきたキリスト教が人びとのエンパワメントや差別の解消にむけて動いてきた様子を検討する。</p>			
アクティブラーニングの実施内容			
到達目標		対応するディプロマポリシー (1 知識・技能/2 思考・判断・表現力/3 主体性)	
1	1 解放の神学の基礎的な知識を身につける	知識・技能	
2	2 アジアや日本における人権問題とキリスト教の関係を理解する	思考・判断・表現力	
3	3 日本社会でキリスト教について考える視座を獲得する	主体性	
4			
5			
成績評価の基準		対応する到達目標の番号	
1	課題レポート 30% 各回のコメントシートの提出のほか、適宜、課題レポートの提出を求める。	1/2	
2	期末試験 70% 講義で学んだ知識と受講生の主体的な意見を総合して判断する。	1/2/3	
3			
4			
5			
実務経験のある教員による授業科目			
実務経験の授業への活用方法			
日本語以外の言語による授業			
授業予定一覧		事前・事後学修内容と時間	
1 ガイダンスとントロダクション			
事前学修	シラバスをしっかりと読み、関心事項と疑問点を整理しておく。	1時間程度	
事後学修	配布資料を読み直し、半期で学ぶ内容と疑問点を整理する。	2時間程度	
2 「解放の神学」を考える(1): ラテンアメリカにおける歴史と展開			
事前学修	前週の復習をし、疑問点を整理しておく。必要に応じて参考文献を読み進める。	2時間程度	
事後学修	配布資料を読み直し、わからない部分は参考文献で補っておく。	2時間程度	
3 「解放の神学」を考える(2): アジアにおける歴史と展開			
事前学修	前週の復習をし、疑問点を整理しておく。必要に応じて参考文献を読み進める。	2時間程度	
事後学修	配布資料を読み直し、わからない部分は参考文献で補っておく。	2時間程度	
4 差別と人権を考える(1): 民衆(みんじゅん)の神学①			
事前学修	前週の復習をし、疑問点を整理しておく。必要に応じて参考文献を読み進める。	2時間程度	
事後学修	配布資料を読み直し、わからない部分は参考文献で補っておく。	2時間程度	
5 差別と人権を考える(2): 民衆(みんじゅん)の神学②			
事前学修	前週の復習をし、疑問点を整理しておく。必要に応じて参考文献を読み進める。	2時間程度	
事後学修	配布資料を読み直し、わからない部分は参考文献で補っておく。	2時間程度	

6 差別と人権を考える（3）：寄留の民の神学①		
事前学修	前週の復習をし、疑問点を整理しておく。必要に応じて参考文献を読み進める。	2時間程度
事後学修	配布資料を読み直し、わからない部分は参考文献で補っておく。	2時間程度
7 差別と人権を考える（4）：寄留の民の神学②		
事前学修	前週の復習をし、疑問点を整理しておく。必要に応じて参考文献を読み進める。	2時間程度
事後学修	配布資料を読み直し、わからない部分は参考文献で補っておく。	2時間程度
8 差別と人権を考える（5）：荊冠の神学①		
事前学修	前週の復習をし、疑問点を整理しておく。必要に応じて参考文献を読み進める。	2時間程度
事後学修	配布資料を読み直し、わからない部分は参考文献で補っておく。	2時間程度
9 差別と人権を考える（6）：荊冠の神学②		
事前学修	前週の復習をし、疑問点を整理しておく。必要に応じて参考文献を読み進める。	2時間程度
事後学修	配布資料を読み直し、わからない部分は参考文献で補っておく。	2時間程度
10 イエス思想の実践（1）：非暴力と反軍事の歴史		
事前学修	前週の復習をし、疑問点を整理しておく。必要に応じて参考文献を読み進める。	2時間程度
事後学修	配布資料を読み直し、わからない部分は参考文献で補っておく。	2時間程度
11 イエス思想の実践（2）：非暴力と反軍事の実践①		
事前学修	前週の復習をし、疑問点を整理しておく。必要に応じて参考文献を読み進める。	2時間程度
事後学修	配布資料を読み直し、わからない部分は参考文献で補っておく。	2時間程度
12 イエス思想の実践（3）：非暴力と反軍事の実践②		
事前学修	前週の復習をし、疑問点を整理しておく。必要に応じて参考文献を読み進める。	2時間程度
事後学修	配布資料を読み直し、わからない部分は参考文献で補っておく。	2時間程度

13 キリスト教の批判的検討（1）：戦争と教会・思想としての「キリスト教批判」		
事前学修	前週の復習をし、疑問点を整理しておく。必要に応じて参考文献を読み進める。	2時間程度
事後学修	配布資料を読み直し、わからない部分は参考文献で補っておく。	2時間程度
14. キリスト教の批判的検討（2）：近代天皇制とキリスト教		
事前学修	前週の復習をし、疑問点を整理しておく。必要に応じて参考文献を読み進める。	2時間程度
事後学修	配布資料を読み直し、わからない部分は参考文献で補っておく。	2時間程度
15 ふりかえりとまとめ 積み残し事項などを紹介し、必要に応じて補足資料を用いて説明する。		
事前学修	前週の復習をし、疑問点を整理しておく。必要に応じて参考文献を読み進める。	2時間程度
事後学修	授業全体の配布資料を読み直し、わからない部分は参考文献で補っておく。 試験に備える。	3時間以上
試験等		
期末試験（論述試験）		
試験のフィードバックの方法 必要に応じて対応する。		
必携書（教科書販売） 書籍名／著者／発売元出版社／価格／ISBN／媒体種別・備考		
教科書は指定しない。		
必携書・参考書（教科書販売以外） 書籍名／著者／発売元出版社／価格／ISBN／媒体種別・備考		
*事前購入の必要はありません。 グスタボ・グティエレス、2000、『解放の神学』岩波書店 グスタボ・グティエレス、2000、『いのちの神』新教出版社 上村静、2013、『キリスト教の自己批判—明日の福音のために』新教出版社 栗林輝夫、1991、『荊冠の神学—被差別部落解放とキリスト教』新教出版社 土肥昭夫、2004、『歴史の証言—日本プロテスタント・キリスト教史より』教文館 ほか、講義内で紹介する。		
オフィスアワー 非常勤講師のため、授業時間の前後で対応する。		
連絡先 初回講義にて伝達する。		
留意事項 ・積極的に予習・復習をし、紹介する参考文献を読むことを推奨する。 ・定員は100名とし、それを超える場合は抽選を実施する。 ・グループディカッションを行う場合があるので準備しておくこと。		

キリスト教学XIV		単位数	2単位
授業コード	10290	科目ナンバリング	100B1-1234-o2
開講年度学期	2025年度第2期		
担当者氏名	山下 美紀		
時間割備考			
授業形態(主)	1 講義		
授業形態(副)	2 演習		
担当形態	単独		
研究分野(大学院)			
本授業の概要			
<p>・本授業のテーマは「日本の教育とキリスト教—自校史研究の試み」である。明治以来、時代の変遷とともに日本の教育にキリスト教がどのような役割を果たしてきたかを考察する。</p> <p>・授業は次の2つのサブテーマから成る。</p> <p>1) 明治期から戦後の時代までの、キリスト教と日本の教育との関連についての歴史的概観。</p> <p>2) 具体的な例としての、ノートルダム清心女子大学の成立とその変遷(自校史)。</p> <p>・実際に外に出ていく機会(教会や記録資料館、さまざまな外部の催し、学内における行事)を設ける。したがって、時間割以外の時間における活動にも参加できることが受講の条件となる。</p> <p>・本学の歴史に関する資料として、アーカイブ資料(例、大学および学生の発行したジャーナルなど)を分析し、教育理念などについて理解を深める。</p>			
アクティブラーニングの実施内容	調査学習		
到達目標			対応するディプロマポリシー (1 知識・技能/2 思考・判断・表現力/3 主体性)
1	日本の教育に果たしてきたキリスト教の役割について説明できる。		知識・技能/思考・判断・表現力/主体性
2	ノートルダム清心女子大学の歴史と伝統について説明できる。		知識・技能/思考・判断・表現力/主体性
3			
4			
5			
成績評価の基準			対応する到達目標の番号
1	ディスカッションへの参加、学内外での行事への参加 30%		1/2
2	課題レポート 30%		1/2
3	期末レポート 40%		1/2
4			
5			
実務経験のある教員による授業科目			
実務経験の授業への活用方法			
日本語以外の言語による授業			
授業予定一覧		事前・事後学修内容と時間	
I 日本の教育とキリスト教			
① イントロダクション キリスト教の人間観と教育			
事前学修	・講義内容を理解したうえで、毎回の授業に臨む。予習として配布資料を読む。		各回2時間程度
事後学修	・授業後は、講義内容を確認し、ディスカッションやレポートに備える。		各回2時間程度
② 近代日本のキリスト教史			
事前学修	前回の講義内容を理解したうえで、毎回の授業に臨む。予習として配布資料を読む。		各回2時間程度
事後学修	授業後は、講義内容を確認し、ディスカッションやレポートに備える。		各回2時間程度
③ 幼児教育とキリスト教			
事前学修	前回の講義内容を理解したうえで、毎回の授業に臨む。予習として配布資料を読む。		各回2時間程度
事後学修	授業後は、講義内容を確認し、ディスカッションやレポートに備える。		各回2時間程度
④ 日本のキリスト教系学校			
事前学修	前回の講義内容を理解したうえで、毎回の授業に臨む。予習として配布資料を読む。		各回2時間程度
事後学修	授業後は、講義内容を確認し、ディスカッションやレポートに備える。		各回2時間程度
⑤ 近代日本の女子教育			
事前学修	前回の講義内容を理解したうえで、毎回の授業に臨む。予習として配布資料を読む。		各回2時間程度
事後学修	授業後は、講義内容を確認し、ディスカッションやレポートに備える。		各回2時間程度

⑥ 日本のキリスト教女子教育		
事前学修	前回の講義内容を理解したうえで、毎回の授業に臨む。予習として配布資料を読む。	各回2時間程度
事後学修	授業後は、講義内容を確認し、ディスカッションやレポートに備える。	各回2時間程度
⑦ ディスカッション		
事前学修	前回の講義内容を理解したうえで、毎回の授業に臨む。予習として配布資料を読む。	各回2時間程度
事後学修	授業後は、講義内容を確認し、ディスカッションやレポートに備える。	各回2時間程度
11 自校史研究（ノートルダム清心女子大学）		
⑧ 岡山のキリスト教の伝統と女子教育		
事前学修	前回の講義内容を理解したうえで、毎回の授業に臨む。予習として配布資料を読む。	各回2時間程度
事後学修	授業後は、講義内容を確認し、ディスカッションやレポートに備える。	各回2時間程度
⑨ 聖ジュリー・ピリアートとナミュール・ノートルダム修道女会の活動		
事前学修	前回の講義内容を理解したうえで、毎回の授業に臨む。予習として配布資料を読む。	各回2時間程度
事後学修	授業後は、講義内容を確認し、ディスカッションやレポートに備える。	各回2時間程度
⑩ ノートルダム清心女子大学の成立と発展		
事前学修	前回の講義内容を理解したうえで、毎回の授業に臨む。予習として配布資料を読む。	各回2時間程度
事後学修	授業後は、講義内容を確認し、ディスカッションやレポートに備える。	各回2時間程度
⑪ ノートルダム清心女子大学のアーカイブ資料の紹介		
事前学修	前回の講義内容を理解したうえで、毎回の授業に臨む。予習として配布資料を読む。	各回2時間程度
事後学修	授業後は、講義内容を確認し、ディスカッションやレポートに備える。	各回2時間程度
⑫ ノートルダム清心女子大学の教育と学生生活		
事前学修	前回の講義内容を理解したうえで、毎回の授業に臨む。予習として配布資料を読む。	各回2時間程度
事後学修	授業後は、講義内容を確認し、ディスカッションやレポートに備える。	各回2時間程度

⑬ ディスカッション		
事前学修	前回の講義内容を理解したうえで、毎回の授業に臨む。予習として配布資料を読む。	各回2時間程度
事後学修	授業後は、講義内容を確認し、ディスカッションやレポートに備える。	各回2時間程度
⑭ 学生によるアーカイブ資料の分析・報告（前半）		
事前学修	前回の講義内容を理解したうえで、毎回の授業に臨む。予習として配布資料を読む。	各回2時間程度
事後学修	授業後は、講義内容を確認し、ディスカッションやレポートに備える。	各回2時間程度
⑮ 学生によるアーカイブ資料の分析・報告（後半）		
事前学修	前回の講義内容を理解したうえで、毎回の授業に臨む。予習として配布資料を読む。	各回2時間程度
事後学修	授業後は、講義内容を確認し、ディスカッションやレポートに備える。	各回2時間程度
試験等		
期末レポート		
試験のフィードバックの方法		
レポート提出後に講評する。		
必携書（教科書販売）		
書籍名／著者／発売元出版社／価格／ISBN／媒体種別・備考		
必携書・参考書（教科書販売以外）		
書籍名／著者／発売元出版社／価格／ISBN／媒体種別・備考		
必要に応じて指示する。		
オフィスアワー		
オフィスアワーは授業中に指示する。		
連絡先		
miki@m.ndsu.ac.jp		
留意事項		
<p>1) 本授業では、本学の広報室の協力を得て、教室外（学内）でのアーカイブ資料の説明を受ける。その後、キリスト教文化研究所において、指定された期間内（授業時間外）に、アーカイブ資料を各自が直接閲覧して分析すべき資料を選び、それに基づいて期末に口頭発表を行う。</p> <p>よって、これらには必ず出席することが求められている。</p> <p>2) 学内外での活動後における「ディスカッション」では、学生が感想や意見を述べあい、その後レポートの提出を求める。</p> <p>3) 授業の概要の箇所にも記したが、本講義は実際に外に出ていく機会（教会や記録資料館、さまざまな外部の催し、学内における行事）を設ける。したがって、時間割以外の時間における活動にも参加できることが受講の条件となる。</p> <p>4) この授業の定員は20名とする。</p>		

キリスト教学XV		単位数	2単位
授業コード	10300	科目ナンバリング	100B1-1234-o2
開講年度学期	2025年度第2期		
担当者氏名	堀江 有里		
時間割備考			
授業形態(主)	1 講義		
授業形態(副)			
担当形態	単独		
研究分野(大学院)			
本授業の概要			
わたしたちの生きる社会には、人間を「女」「男」の2つに分けて固定しようとする考え方(性別二元論)、その2つが「つがい」となるのがあたりまえだという考え方(異性愛主義)が存在している。本講義では、まずはジェンダー/セクシュアリティの基礎知識をしっかりと理解し、性をめぐる“あたりまえ”を問いながら、キリスト教とのつながりを考えていく。			
アクティブラーニングの実施内容			
到達目標		対応するディプロマポリシー (1 知識・技能/2 思考・判断・表現力/3 主体性)	
1	1 ジェンダー/セクシュアリティの基礎的な知識とキリスト教の関係を学ぶ	知識・技能	
2	2 フェミニスト神学・クィア神学の姿勢を理解する	思考・判断・表現力	
3	3 日本社会でキリスト教について考える視座を獲得する	主体性	
4			
5			
成績評価の基準		対応する到達目標の番号	
1	課題レポート 30% 各回のコメントシートの提出のほか、適宜、課題レポートの提出を求める。	1/2	
2	期末試験 70% 講義で学んだ知識と受講生の主体的な意見を総合して判断する。	1/2/3	
3			
4			
5			
実務経験のある教員による授業科目			
実務経験の授業への活用方法			
日本語以外の言語による授業			
授業予定一覧		事前・事後学修内容と時間	
1 ガイダンスとントロダクション			
事前学修	シラバスをしっかりと読み、関心事項と疑問点を整理しておく。	1時間程度	
事後学修	配布資料を読み直し、半期で学ぶ内容と疑問点を整理する。	2時間程度	
2 ジェンダー/セクシュアリティを考える(1): 性の多様性、多層性			
事前学修	前週の復習をし、疑問点を整理しておく。必要に応じて参考文献を読み進める。	2時間程度	
事後学修	配布資料を読み直し、わからない部分は参考文献で補っておく。	2時間程度	
3 ジェンダー/セクシュアリティを考える(2): 性別二元論と性別越境			
事前学修	前週の復習をし、疑問点を整理しておく。必要に応じて参考文献を読み進める。	2時間程度	
事後学修	配布資料を読み直し、わからない部分は参考文献で補っておく。	2時間程度	
4 ジェンダー/セクシュアリティを考える(3): 性的指向とカミングアウト			
事前学修	前週の復習をし、疑問点を整理しておく。必要に応じて参考文献を読み進める。	2時間程度	
事後学修	配布資料を読み直し、わからない部分は参考文献で補っておく。	2時間程度	
5 フェミニスト神学(1): 性差別とキリスト教			
事前学修	前週の復習をし、疑問点を整理しておく。必要に応じて参考文献を読み進める。	2時間程度	
事後学修	配布資料を読み直し、わからない部分は参考文献で補っておく。	2時間程度	

6 フェミニスト神学 (2) : 聖書の物語を読む①		
事前学修	前週の復習をし、疑問点を整理しておく。必要に応じて参考文献を読み進める。	2時間程度
事後学修	配布資料を読み直し、わからない部分は参考文献で補っておく。	2時間程度
7 フェミニスト神学 (3) : 聖書の物語を読む②		
事前学修	前週の復習をし、疑問点を整理しておく。必要に応じて参考文献を読み進める。	2時間程度
事後学修	配布資料を読み直し、わからない部分は参考文献で補っておく。	2時間程度
8 フェミニスト神学 (4) : 日本での取り組みから		
事前学修	前週の復習をし、疑問点を整理しておく。必要に応じて参考文献を読み進める。	2時間程度
事後学修	配布資料を読み直し、わからない部分は参考文献で補っておく。	2時間程度
9 クィア神学 (1) : 同性愛主義とキリスト教		
事前学修	前週の復習をし、疑問点を整理しておく。必要に応じて参考文献を読み進める。	2時間程度
事後学修	配布資料を読み直し、わからない部分は参考文献で補っておく。	2時間程度
10 クィア神学 (2) : 聖書の物語を読む		
事前学修	前週の復習をし、疑問点を整理しておく。必要に応じて参考文献を読み進める。	2時間程度
事後学修	配布資料を読み直し、わからない部分は参考文献で補っておく。	2時間程度
11 クィア神学 (3) : 米国での取り組みから		
事前学修	前週の復習をし、疑問点を整理しておく。必要に応じて参考文献を読み進める。	2時間程度
事後学修	配布資料を読み直し、わからない部分は参考文献で補っておく。	2時間程度
12 クィア神学 (4) : 日本での取り組みから		
事前学修	前週の復習をし、疑問点を整理しておく。必要に応じて参考文献を読み進める。	2時間程度
事後学修	配布資料を読み直し、わからない部分は参考文献で補っておく。	2時間程度

13 日本社会とキリスト教 (1) : アジアの中での神学ネットワーク		
事前学修	前週の復習をし、疑問点を整理しておく。必要に応じて参考文献を読み進める。	2時間程度
事後学修	配布資料を読み直し、わからない部分は参考文献で補っておく。	2時間程度
14 日本社会とキリスト教 (2) : 天皇制とジェンダー／セクシュアリティ		
事前学修	前週の復習をし、疑問点を整理しておく。必要に応じて参考文献を読み進める。	2時間程度
事後学修	配布資料を読み直し、わからない部分は参考文献で補っておく。	2時間程度
15 ふりかえりとまとめ 積み残し事項などを紹介し、必要に応じて補足資料を用いて説明する。		
事前学修	前週の復習をし、疑問点を整理しておく。必要に応じて参考文献を読み進める。	2時間程度
事後学修	授業全体の配布資料を読み直し、わからない部分は参考文献で補っておく。 試験に備える。	3時間以上
試験等		
期末試験 (論述試験)		
試験のフィードバックの方法 必要に応じて対応する。		
必携書 (教科書販売)		
書籍名 / 著者 / 発売元出版社 / 価格 / ISBN / 媒体種別 ・ 備考		
教科書は指定しない。		
必携書・参考書 (教科書販売以外)		
書籍名 / 著者 / 発売元出版社 / 価格 / ISBN / 媒体種別 ・ 備考		
* 事前購入の必要はありません。 網川久子、2014、『沈黙の声を聴く ―マルコ福音書から』日本基督教団出版局 山口里子、2008、『虹は私たちの間に 一性と生の正義に向けて』新教出版社 工藤万里江、2022、『クィア神学の挑戦 ―クィア、フェミニズム、キリスト教』新教出版社 堀江有里、2006、『「レズビアン」という生き方 ―キリスト教の異性愛主義を問う』新教出版社 ほか、講義内で紹介する。		
オフィスアワー 非常勤講師のため、授業時間の前後で対応する。		
連絡先 初回講義にて伝達する。		
留意事項 ・積極的に予習・復習をし、紹介する参考文献を読むことを推奨する。 ・定員は100名とし、それを超える場合は抽選を実施する。 ・グループディカッションを行う場合があるので準備しておくこと。		

キリスト教学XVI		【単位数】	2単位
授業コード	10310	科目ナンバリング	100B1-2340-o2
開講年度学期	2025年度第1期		
担当者氏名	山根 道公		
時間割備考			
授業形態(主)	1 講義		
授業形態(副)			
担当形態	単独		
研究分野(大学院)			
本授業の概要			
<p>「愛は決して滅びない」「神は耐えられないような試練にあわせることはない」といった言葉は、新約聖書の中のパウロの書簡の言葉である。そうしたパウロの言葉と共に新約聖書の中の使徒言行録を中心に読むことによって、イエスの死後、イエスを見捨てて逃げた弱い弟子たちが、イエスをキリスト(救い主)と呼び、信念をもった使徒となり、原始キリスト教が成立し、さらにキリスト教徒を迫害していたパウロが回心して異邦人伝道の使徒となることでキリスト教がヘレニズム世界に広がるという歴史的展開を学ぶ。そして弱かった弟子たちが何故に強い信念の使徒に変貌できたのかを考察する。さらに、関連する聖書およびキリスト教についての基礎的知識を学ぶ。</p>			
アクティブラーニングの実施内容			
到達目標		対応するディプロマポリシー (1 知識・技能/2 思考・判断・表現力/3 主体性)	
1	イエスの死後、弱者であった弟子たちや迫害者であったパウロが信念を持った使徒となり、キリスト教がヘレニズム世界に広がる歴史的展開について説明できる。	知識・技能	
2	パウロの書簡の言葉から愛や苦しみの連帯など生きる意義について主体的に考えることができる。	思考・判断・表現力/主体性	
3	関連する聖書およびキリスト教についての基礎的知識について説明できる。	知識・技能	
4			
5			
成績評価の基準		対応する到達目標の番号	
1	毎回のリアクションレポート(授業および関連する聖書、キリスト教について意見、質問、感想等を書く)…45%	1/2/3	
2	期末レポート…55%	1/2/3	
3			
4			
5			
実務経験のある教員による授業科目			
実務経験の授業への活用方法			
日本語以外の言語による授業			
授業予定一覧		事前・事後学修内容と時間	
1. 導入：現代人とパウロの言葉			
事前学修	シラバスを必ず読んで、主体的な問題意識をもち、疑問点など確認しておくこと。	2時間	
事後学修	授業を振り返り、自分の意見、質問、感想等をまとめてリアクションレポートとしてmanaで提出する。また、期末レポートでは、授業で取り上げた重要なテーマをまとめる課題を出すので、毎回授業のまとめをしておくこと。	2時間	
2. 『新約聖書』の使徒言行録と書簡の概説・風土的背景			
事前学修	毎回、次の授業のテキストの範囲を伝えるので、必ず読んで、疑問点などチェックしておくこと。	2時間	
事後学修	授業を振り返り、自分の意見、質問、感想等をまとめてリアクションレポートとしてmanaで提出する。また、期末レポートでは、授業で取り上げた重要なテーマをまとめる課題を出すので、毎回授業のまとめをしておくこと。	2時間	
3. 原始キリスト教の発			
事前学修	毎回、次の授業のテキストの範囲を伝えるので、必ず読んで、疑問点などチェックしておくこと。	2時間	
事後学修	授業を振り返り、自分の意見、質問、感想等をまとめてリアクションレポートとしてmanaで提出する。また、期末レポートでは、授業で取り上げた重要なテーマをまとめる課題を出すので、毎回授業のまとめをしておくこと。	2時間	
4. ユダヤ教徒からの迫害、ステファノの殉教			
事前学修	毎回、次の授業のテキストの範囲を伝えるので、必ず読んで、疑問点などチェックしておくこと。	2時間	
事後学修	授業を振り返り、自分の意見、質問、感想等をまとめてリアクションレポートとしてmanaで提出する。また、期末レポートでは、授業で取り上げた重要なテーマをまとめる課題を出すので、毎回授業のまとめをしておくこと。	2時間	
5. 迫害者パウロの回心			
事前学修	毎回、次の授業のテキストの範囲を伝えるので、必ず読んで、疑問点などチェックしておくこと。	2時間	
事後学修	授業を振り返り、自分の意見、質問、感想等をまとめてリアクションレポートとしてmanaで提出する。また、期末レポートでは、授業で取り上げた重要なテーマをまとめる課題を出すので、毎回授業のまとめをしておくこと。	2時間	

6. 原始キリスト教におけるエルサレムとアンティオキア		
事前学修	毎回、次の授業のテキストの範囲を伝えるので、必ず読んで、疑問点などチェックしておくこと。	2時間
事後学修	授業を振り返り、自分の意見、質問、感想等をまとめてリアクションレポートとしてmanaバで提出する。また、期末レポートでは、授業で取り上げた重要なテーマをまとめる課題を出すので、毎回授業のまとめをしておくこと。	2時間
7. パウロの第1次伝道旅行		
事前学修	毎回、次の授業のテキストの範囲を伝えるので、必ず読んで、疑問点などチェックしておくこと。	2時間
事後学修	授業を振り返り、自分の意見、質問、感想等をまとめてリアクションレポートとしてmanaバで提出する。また、期末レポートでは、授業で取り上げた重要なテーマをまとめる課題を出すので、毎回授業のまとめをしておくこと。	2時間
8. パウロの第2次伝道旅行		
事前学修	毎回、次の授業のテキストの範囲を伝えるので、必ず読んで、疑問点などチェックしておくこと。	2時間
事後学修	授業を振り返り、自分の意見、質問、感想等をまとめてリアクションレポートとしてmanaバで提出する。また、期末レポートでは、授業で取り上げた重要なテーマをまとめる課題を出すので、毎回授業のまとめをしておくこと。	2時間
9. パウロの第3次伝道旅行とローマへの旅		
事前学修	毎回、次の授業のテキストの範囲を伝えるので、必ず読んで、疑問点などチェックしておくこと。	2時間
事後学修	授業を振り返り、自分の意見、質問、感想等をまとめてリアクションレポートとしてmanaバで提出する。また、期末レポートでは、授業で取り上げた重要なテーマをまとめる課題を出すので、毎回授業のまとめをしておくこと。	2時間
10. ペトロの殉教、パウロの殉教		
事前学修	毎回、次の授業のテキストの範囲を伝えるので、必ず読んで、疑問点などチェックしておくこと。	2時間
事後学修	授業を振り返り、自分の意見、質問、感想等をまとめてリアクションレポートとしてmanaバで提出する。また、期末レポートでは、授業で取り上げた重要なテーマをまとめる課題を出すので、毎回授業のまとめをしておくこと。	2時間
11. ユダヤ戦争と原始キリスト教		
事前学修	毎回、次の授業のテキストの範囲を伝えるので、必ず読んで、疑問点などチェックしておくこと。	2時間
事後学修	授業を振り返り、自分の意見、質問、感想等をまとめてリアクションレポートとしてmanaバで提出する。また、期末レポートでは、授業で取り上げた重要なテーマをまとめる課題を出すので、毎回授業のまとめをしておくこと。	2時間
12. 原始キリスト教の発展		
事前学修	毎回、次の授業のテキストの範囲を伝えるので、必ず読んで、疑問点などチェックしておくこと。	2時間
事後学修	授業を振り返り、自分の意見、質問、感想等をまとめてリアクションレポートとしてmanaバで提出する。また、期末レポートでは、授業で取り上げた重要なテーマをまとめる課題を出すので、毎回授業のまとめをしておくこと。	2時間

13. 原始キリスト教と福音宣教		
事前学修	毎回、次の授業のテキストの範囲を伝えるので、必ず読んで、疑問点などチェックしておくこと。	2時間
事後学修	授業を振り返り、自分の意見、質問、感想等をまとめてリアクションレポートとしてマナバで提出する。また、期末レポートでは、授業で取り上げた重要なテーマをまとめる課題を出すので、毎回授業のまとめをしておくこと。	2時間
14. パウロの書簡より、愛の賛歌、苦しみの連帯		
事前学修	毎回、次の授業のテキストの範囲を伝えるので、必ず読んで、疑問点などチェックしておくこと。	2時間
事後学修	授業を振り返り、自分の意見、質問、感想等をまとめてリアクションレポートとしてマナバで提出する。また、期末レポートでは、授業で取り上げた重要なテーマをまとめる課題を出すので、毎回授業のまとめをしておくこと。	2時間
15. まとめ		
事前学修	授業のテキスト全体を振り返って、疑問点などチェックしておくこと。	2時間
事後学修	授業を振り返り、自分の意見、質問、感想等をまとめてリアクションレポートとしてマナバで提出する。また、期末レポートでは、授業で取り上げた重要なテーマをまとめる課題を出すので、毎回授業のまとめをしておくこと。	2時間
試験等		
期末レポート		
試験のフィードバックの方法		
必要に応じてマナバで伝える。		
必携書（教科書販売）		
書籍名／著者／発売元出版社／価格／ISBN／媒体種別・備考		
遠藤周作『キリストの誕生』（新潮文庫）		
必携書・参考書（教科書販売以外）		
書籍名／著者／発売元出版社／価格／ISBN／媒体種別・備考		
『聖書』		
オフィスアワー		
オフィスアワーは金曜日12:30-13:00。質問、相談等は授業の後でも、メールでも随時、応じます。		
連絡先		
yamane@m.ndsu.ac.jp		
留意事項		
授業が一方通行にならないようにリアクションレポートに毎回、授業を受けて自分の意見・質問等を書いてマナバで提出してもらうので、受講者は主体的に授業に臨むこと。		